

ApresiaNP5000 シリーズ

AEOS-NP5000 Ver. 1.08

システムログ対応一覧

**APRESIA Systems 株式会社**

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2021年8月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TD61-7288A AEOS-NP5000 Ver. 1.07 システムログ対応一覧より作成</li> <li>• 全章を対象に誤字・脱字・体裁を修正</li> <li>• 「はじめに」に「適応機種と対応バージョン」を追加</li> <li>• 「はじめに」を修正</li> <li>• 「1.8 Configuration / Firmware」を修正</li> <li>• 「1.18 ファイルシステム」を追加</li> <li>• 「1.32 Port」を修正</li> <li>• 「1.39 Storm Control」を修正</li> <li>• 「1.47 システムメモリー使用率監視」を修正</li> </ul>
A	2022年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全章を対象に誤字・脱字・体裁を修正</li> <li>• 「1.2 AAA」を修正</li> <li>• 「1.3 AccessDefender」を修正</li> <li>• 「1.35 SDカードブート」を「1.5 ブート情報」に変更、記載位置変更</li> <li>• 「1.10 Counter」を修正</li> <li>• 「1.13 DHCPv6 Client」を修正</li> <li>• 「1.14 DHCPv6 Relay」を修正</li> <li>• 「1.24 ループ検知」を修正</li> <li>• 「1.27 OSPFv2」を修正</li> <li>• 「1.35 RIPng」を修正</li> <li>• 「1.37 SSH」を修正</li> <li>• 「1.39 Storm Control」を修正</li> <li>• 「1.40 スパニングツリープロトコル」を修正</li> <li>• 「1.41 システム」を修正</li> </ul>

# 目次

制定・改訂来歴表	1
はじめに	4
1 システムログのエントリー	6
1.1 インターフェースモジュール	6
1.2 AAA	8
1.3 AccessDefender	11
1.4 ARP	17
1.5 ブート情報	18
1.6 CFM	20
1.7 CFM Extension	23
1.8 Configuration / Firmware	25
1.9 Console	33
1.10 Counter	34
1.11 DHCPv4 Relay	35
1.12 DHCPv4 Server	36
1.13 DHCPv6 Client	38
1.14 DHCPv6 Relay	43
1.15 DHCPv6 Server	44
1.16 ERPS	46
1.17 Fan	47
1.18 ファイルシステム	50
1.19 IP ディレクテッドブロードキャスト	51
1.20 L3 エントリー	52
1.21 LACP	53
1.22 ポートリダンダント	56
1.23 LLDP	58
1.24 ループ検知	61
1.25 メモリーエラー自動復旧	64
1.26 MMRP-Plus	66
1.27 OSPFv2	71
1.28 OSPFv3	79
1.29 PIM-SM	81
1.30 IPv6 PIM-SM	82
1.31 PD モニタリング	83
1.32 Port	84
1.33 Power	87
1.34 RIP	89
1.35 RIPng	91
1.36 SNMP	92
1.37 SSH	93
1.38 スタック	95
1.39 Storm Control	102
1.40 スパニングツリープロトコル	105

1.41 システム .....	111
1.42 Telnet .....	116
1.43 Temperature .....	118
1.44 単方向リンク検出 (ULD) .....	119
1.45 VRRPv2 .....	120
1.46 VRRPv3 .....	121
1.47 システムメモリー使用率監視 .....	123
1.48 CPU 使用率監視機能 .....	125

# はじめに

## ■ 適応機種と対応バージョン

製品名称	機器レビジョン	レイヤー3 ライセンスの有無	対応バージョン
ApresiaNP5000-48T4X	A	有効、または無効	AEOS-NP5000 Ver. 1.01.01～
	B	無効	AEOS-NP5000 Ver. 1.01.01～
		有効	AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01～

- 機器レビジョンは show version コマンドで確認できます。
- MAC アドレスのベンダーコード (OUI: Organizationally Unique Identifier)  
機器レビジョン A: 00-40-66  
機器レビジョン B: FC-6D-D1

**!** レイヤー3 ライセンスが有効な機器レビジョン B の装置を AEOS-NP5000 Ver. 1.07.02 以前のファームウェアで使用することは未サポートです。AEOS-NP5000 Ver. 1.07.02 以前のファームウェアで起動した場合、レイヤー3 ライセンスが無効になってしまい、レイヤー3 ライセンスが必要な機能を使用できません。

## ■ 輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出、または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店、または当社の営業担当にお問い合わせください。

## ■ 使用条件と免責事項

ユーザーは、本製品を使用することにより、本ハードウェア内部で動作するルーティングソフトウェアを含むすべてのソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます）に関して、以下の諸条件に同意したものといたします。

本ソフトウェアの使用に起因する、または本ソフトウェアの使用不能によって生じたいかなる直接的、または間接的な損失・損害等（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含み、これに限定されない）については、その責を負わないものとします。

- 本ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルすることはできません。
- 本ソフトウェアを本ハードウェアから分離すること、または本ハードウェアに組み込まれた状態以外で本ソフトウェアを使用すること、または本ハードウェアでの使用を目的とせず本ソフトウェアを移動することはできません。
- 本ソフトウェアでは、本資料に記載しているログのみをサポートしています。

はじめに

■商標登録

APRESIA は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

AEOS は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

MMRP は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

AccessDefender は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

Ethernet およびイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

# 1 システムログのエントリー

装置のシステムログに記録されるエントリーとログの内容を、以下に示します。

## 1.1 インターフェースモジュール

ログ表示	Unit <unit-id>, Attached 40G module to the device
レベル	Critical (2)
イベントの説明	装置にインターフェースモジュールが接続されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Install 40G module failed
レベル	Warning (4)
イベントの説明	装置へのインターフェースモジュールのインストールが失敗したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	再度、インターフェースモジュールを接続しなおしてください。それでも解決しない場合は、インターフェースモジュールの交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Install 40G module successfully
レベル	Notification (5)
イベントの説明	装置へのインターフェースモジュールのインストールが成功したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Detached 40G module from the device
レベル	Critical (2)
イベントの説明	装置からインターフェースモジュールが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01

## 1.1 インターフェースモジュール

対応	不要
----	----



## 1.2 AAA

ログ表示	AAA is enabled AAA is disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	AAA 機能のグローバル設定が有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Successful login through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ログインに成功したことを示します。
パラメーター	<exec-type> : 接続方法を示します (例 : Console、Telnet、SSH) 。 <client-ip> : IP プロトコルで有効なアドレスであれば、クライアントの IP アドレスを示します。 <aaa-method> : 認証方法を示します (例 : none、local、server) 。 <server-ip> : 認証方法がリモートサーバーの場合、AAA サーバーの IP アドレスを示します。 <user-name> : 認証のユーザー名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Login failed through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<exec-type> : 接続方法を示します (例 : Console、Telnet、SSH) 。 <client-ip> : IP プロトコルで有効なアドレスであれば、クライアントの IP アドレスを示します。 <aaa-method> : 認証方法を示します (例 : local、server) 。 <server-ip> :

1.2 AAA

	<p>認証方法がリモートサーバーの場合、AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; :                  認証のユーザー名を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>認証方法、ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。</p> <p>認証方法が local の場合、ローカルのデータベースにおけるユーザー定義が正しいか確認してください。</p> <p>認証方法が server の場合、AAA サーバーのユーザー定義ファイルが正しく定義されているか確認してください。</p>

ログ表示	Login failed through <exec-type> from <client-ip> due to AAA server <server-ip> timeout (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リモートサーバーがログイン認証の要求に応答しないことを示します。
パラメーター	<p>&lt;exec-type&gt; :                  接続方法を示します (例 : Console、Telnet、SSH) 。</p> <p>&lt;client-ip&gt; :                  IP プロトコルで有効なアドレスであれば、クライアントの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;server-ip&gt; :                  AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; :                  認証のユーザー名を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	リモートサーバーが正しく接続されているか、または正しく起動しているか確認してください。

ログ表示	Successful enable privilege through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	特権が正常に有効化されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;exec-type&gt; :                  接続方法を示します (例 : Console、Telnet、SSH) 。</p> <p>&lt;client-ip&gt; :                  IP プロトコルで有効なアドレスであれば、クライアントの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;aaa-method&gt; :                  認証方法を示します (例 : none、local、server) 。</p> <p>&lt;server-ip&gt; :                  認証方法がリモートサーバーの場合、AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; :                  認証のユーザー名を示します。</p>

## 1.2 AAA

対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Enable privilege failed through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	特権の有効化に失敗したことを示します。
パラメーター	<exec-type> : 接続方法を示します (例 : Console、Telnet、SSH) 。 <client-ip> : IP プロトコルで有効なアドレスであれば、クライアントの IP アドレスを示します。 <aaa-method> : 認証方法を示します (例 : local、server) 。 <server-ip> : 認証方法がリモートサーバーの場合、AAA サーバーの IP アドレスを示します。 <user-name> : 認証のユーザー名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	認証方法、ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。 認証方法が local の場合、ローカルのデータベースにおけるユーザー定義が正しいか確認してください。 認証方法が server の場合、AAA サーバーのユーザー定義ファイルが正しく定義されているか確認してください。

ログ表示	Enable privilege failed through <exec-type> from <client-ip> due to AAA server <server-ip> timeout (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リモートサーバーが enable password 認証要求に応答しないことを示します。
パラメーター	<exec-type> : 接続方法を示します (例 : Console、Telnet、SSH) 。 <client-ip> : IP プロトコルで有効なアドレスであれば、クライアントの IP アドレスを示します。 <server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。 <user-name> : 認証のユーザー名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	リモートサーバーが正しく接続されているか、または正しく起動しているか確認してください。

## 1.3 AccessDefender

ログ表示	A-Def : <auth-type> : login succeeded : [uid=<user-name>] [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> [vid=<vlan-id>] [new vid=<target-vlan-id>] [class=<class-id>]
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証端末がログインに成功したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;auth-type&gt; :            認証端末がログインする認証アルゴリズムを示します。「web」、「gateway」、「mac」、「dot1x」、「dhcpsnooping」、または「static」のいずれかを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; :            認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。認証アルゴリズムが「dhcpsnooping」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; :            認証端末の MAC アドレスを示します。認証アルゴリズムが「gateway」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;ip-address&gt; :            認証端末の送信元 IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「mac」、「dot1x」、および「static」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;interface-id&gt; :            認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; :            認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。認証アルゴリズムが「static」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;target-vlan-id&gt; :            認証済み端末の VLAN ID を示します。VLAN ID がない場合は出力されません。</p> <p>&lt;class-id&gt; :            認証済み端末のクラス ID を示します。クラス ID がない場合は出力されません。</p>
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-method> [<ip-address>] : authentication succeeded : uid=<user-name>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証に成功したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;auth-method&gt; :            認証に成功したときに認証アルゴリズムが使用する認証方式を示します。「radius」、「local」、または「force」のいずれかを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; :            RADIUS サーバーの IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「local」、お</p>

### 1.3 AccessDefender

	よび「force」の場合は出力されません。 <user-name> : 認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-type> : login failed (<reason>): [uid=<user-name>] [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> vid=<vlan-id> [new vid=<target-vlan-id>] [class=<class-id>]
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証端末がログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<auth-type> : 認証端末がログインする認証アルゴリズムを示します。「web」、 「gateway」、「mac」、「dot1x」、または「dhcpsnooping」のいずれかを示し ます。 <reason> : ログインに失敗した原因を示します。以下のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• auth fail : 認証に失敗しました。</li> <li>• dynamic port-base : 接続しようとするポートがダイナミックポートベ             ースモードで、そのポートにすでに認証済み端末が接続されているか、ま              たは、他の認証端末が新たに割り当てようとしている VLAN が、すでに割              り当てられている VLAN と異なります。</li> <li>• ttl=&lt;TTL&gt; : 認証パケットの TTL (Time To Live) が設定値と一致しま              せん。</li> <li>• max per device : 装置で認証できる端末の最大数に達しています。</li> <li>• max per interface : インターフェースで認証できる端末の最大数に達し              ています。</li> <li>• dynamic vlan hash collision : SW-LSI MAC ベースの VLAN テーブルで              ハッシュが衝突し、動的な VLAN の割り当てに失敗しました。</li> <li>• auth fail due to the previous authentication not passed : AND 認証              において直前の認証に失敗しているためログインできません。</li> </ul> <user-name> : 認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。認証アルゴリ ズムが「dhcpsnooping」の場合は出力されません。 <mac-address> : 認証端末の MAC アドレスを示します。認証アルゴリズムが「gateway」の場 合は出力されません。 <ip-address> : 認証端末の送信元 IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「mac」、 「dot1x」、および「static」の場合は出力されません。 <interface-id> : 認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port- channel 1」のように出力されます。 <vlan-id> : 認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。

### 1.3 AccessDefender

	<p>&lt;target-vlan-id&gt; :            認証端末が動的な VLAN 認証による認証には成功したが、その他の理由で認証に失敗した場合に出力されます。</p> <p>&lt;class-id&gt; :            認証端末がクラス ID 認証による認証には成功したが、その他の理由で認証に失敗した場合に出力されます。</p>
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-method> [<ip-address>] : authentication failed : uid=<user-name>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証に失敗したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;auth-method&gt; :            認証に失敗したときに認証アルゴリズムが使用する認証方式を示します。「radius」または「local」のいずれかを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; :            RADIUS サーバーの IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「local」、および「force」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;user-name&gt; :            認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。</p>
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-type> : logout (<reason>) : [uid=<user-name>] [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> [vid=<vlan-id>] [new vid=<target-vlan-id>] [class=<class-id>] [incoming interface <interface-id>]
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証端末がログアウトしたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;auth-type&gt; :            認証端末がログインした認証アルゴリズムを示します。「web」、「gateway」、「mac」、「dot1x」、「dchpsnooping」、または「static」のいずれかを示します。</p> <p>&lt;reason&gt; :            ログアウトした原因を示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• aging : 無通信の認証済みクライアントのエージングログアウト時間が経過しました。</li> <li>• clock : ログアウトの指定時刻になりました。</li> <li>• web : 認証ログインページでログアウトボタンを押しました。</li> <li>• maxtime : 最大接続時間が経過しました。</li> <li>• cli : "access-defender logout" コマンドを実行しました。</li> <li>• config change : 設定が変更されました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• link-down : インターフェースがリンクダウンしました。</li> <li>• overwrite : 認証済み端末が異なるポートに接続し、認証情報を上書きしようとした。</li> <li>• logoff : ログオフを受信しました。</li> <li>• reauth failure : 再認証に失敗しました。</li> <li>• reauth failure supp-timeout : 再認証時にサブリカントからの応答がありません。</li> <li>• reauth vlan change : 再認証時に VLAN の変更を検知しました。</li> <li>• reauth user name change : 再認証時にユーザー名の変更を検知しました。</li> <li>• reauth class change : 再認証時にクラス ID の変更を検知しました。</li> <li>• port initialization : インターフェースの設定が初期化されました。</li> <li>• release : IP アドレスがリリースされました。</li> <li>• expire : IP アドレスのリース期間が切れました。</li> <li>• ping : PING ログアウト機能の条件を満たす ICMP Request パケットを受信しました。</li> </ul> <p>&lt;user-name&gt; :            認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。認証アルゴリズムが「dhcpsnooping」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; :            認証端末の MAC アドレスを示します。認証アルゴリズムが「gateway」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;ip-address&gt; :            認証端末の送信元 IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「mac」、「dot1x」、および「static」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;interface-id&gt; :            認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; :            認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。認証アルゴリズムが「static」の場合は出力されません。</p> <p>&lt;target-vlan-id&gt; :            認証済み端末の VLAN ID を示します。VLAN ID がない場合は出力されません。</p> <p>&lt;class-id&gt; :            認証済み端末のクラス ID を示します。クラス ID がない場合は出力されません。</p> <p>incoming interface &lt;interface-id&gt; :            認証済み端末が異なるポートに接続することによってログアウトした場合に、その移動先のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。&lt;reason&gt;が「overwrite」の場合のみ表示されます。</p>
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

### 1.3 AccessDefender

ログ表示	A-Def : radius <ip-address> timeout : uid=<user-name>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	RADIUS サーバーから応答がなかったことを示します。
パラメーター	<ip-address> : RADIUS サーバーの IP アドレスを示します。 <user-name> : 認証のユーザー名を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	RADIUS サーバーとの通信状態を確認してください。

ログ表示	A-Def : dhcpsnooping : Mode-Timer started
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCP スヌーピングの動作モード自動切り替えタイマーが設定され、開始されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : dhcpsnooping : mode changed to <status> <method>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCP スヌーピングの動作モードが切り替わったことを示します。
パラメーター	<status> : DHCP スヌーピングの動作モードを示します。「PERMIT」または「DENY」のいずれかを示します。 <method> : DHCP スヌーピングの動作モードの切り替え方法を示します。「automatically」または「manually」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : dhcpsnooping : mode changed to mac-authentication mode enable A-Def : dhcpsnooping : mode changed to mac-authentication mode disable
レベル	Informational (6)
イベントの説明	dhcp-snooping mode mac-authentication コマンドで、DHCP スヌーピングの MAC 認証モードが有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.03.01
対応	不要



### 1.3 AccessDefender

ログ表示	A-Def : <ip-address>(<user-agent>) <http-method> <URL>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Web 認証用の Web サーバーまたは HTTP/HTTPS プロキシリダイレクトのアクセスがあったことを示します。このログは、"web-authentication logging web-access on" コマンドでアクセスログが有効になっている場合のみ出力されます。
パラメーター	<ip-address> : ホストの IP アドレスを示します。 <user-agent> : ホストからの HTTP/HTTPS パケットのユーザーエージェントを示します。 <http-method> : ホストからの HTTP/HTTPS パケットの HTTP メソッドを示します。「GET」または「POST」のいずれかを示します。 <URL> : ホストからの HTTP/HTTPS パケットの URL 情報を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	A-Def : authentication is not permitted (<reason>): [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> vid=<vlan-id>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	最大認証端末数に達した状態で、認証ポートに新しい認証端末を検出したことを示します。
パラメーター	<reason> : 認証端末が認証を許可されなかった原因を示します。以下のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• max per device : 装置の最大認証端末数に達しました。</li> <li>• max per interface : インターフェースの最大認証端末数に達しました。</li> </ul> <mac-address> : 認証端末の MAC アドレスを示します。ゲートウェイ認証の場合は表示されません。 <ip-address> : 認証端末の IP アドレスを示します。MAC 認証、Web 認証、IEEE 802.1X 認証の場合は表示されません。ゲートウェイ認証の場合に表示されます。 <interface-id> : 認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。 <vlan-id> : 認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.03.02
対応	不要

## 1.4 ARP

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Conflict IP was detected with this device (IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>, Port<port>, Interface: <ipif-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	Gratuitous ARP リクエストで、重複した IP が検知されたことを示します。本ログは 1 分ごとに検出します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : 本装置と重複する IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : 本装置と IP アドレスが重複する装置の MAC アドレスを示します。</p> <p>&lt;port&gt; : 重複を検知したポート番号を示します。1.04.01 以降では、マネージメントポートで検知した場合には "Port&lt;port&gt;" の代わりに "mgmt_port" と表示されます。</p> <p>&lt;ipif-name&gt; : 重複を検知した IP インターフェースの名前を示します。1.04.01 以降では、マネージメントポートで検知した場合には "mgmt_ipif" と表示されます。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt; パラメーターを追加</p>
対応	本装置と他装置の IP アドレスが重複しないように設定しなおしてください。

## 1.5 ブート情報

ログ表示	Booted from primary firmware <URL>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	プライマリーブートイメージで装置が起動したことを示します。 SD カードブートで起動した場合は、<URL>は /d:/apresia-software.had と表示されます。
パラメーター	<URL> : プライマリーブートイメージファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

ログ表示	Booted from secondary firmware <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	セカンダリーブートイメージで装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : セカンダリーブートイメージファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

ログ表示	Booted from firmware <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	プライマリーブートイメージ、およびセカンダリーブートイメージが使用できず、その他のブートイメージファイルが読み込まれて装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : ブートイメージファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

ログ表示	Booted with primary configuration <URL>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	プライマリー構成情報で装置が起動したことを示します。 SD カードブートで起動した場合は、<URL>は /d:/apresia-startup-config.txt と表示されます。
パラメーター	<URL> : プライマリー構成情報ファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.02.01

## 1.5 ブート情報

対応	不要
ログ表示	Booted with secondary configuration <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	セカンダリー構成情報で装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : セカンダリー構成情報ファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

ログ表示	Booted with configuration <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	プライマリー構成情報、およびセカンダリー構成情報が使用できず、その他の構成情報ファイルが読み込まれて装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : 構成情報ファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

ログ表示	Booted with default configuration
レベル	Alert (1)
イベントの説明	プライマリー構成情報、セカンダリー構成情報、およびその他の構成情報ファイルが使用できず、デフォルト設定で装置が起動したことを示します。 なお、本ログが出力されてデフォルト設定で装置が起動する際は、全ポート shutdown 設定で起動します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.02.01
対応	不要

## 1.6 CFM

ログ表示	CFM cross-connect. VLAN:<vlan-id>, Local (MD Level:<md-level>, Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>) Remote (MEPID:<mep-id>, MAC:<mac-address>)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	クロスコネクトが検知されたことを示します。
パラメーター	<vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : 「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。値が 0 の場合、不明な MEPID を意味します。 <mac-address> : MEP の MAC アドレスを示します。値がすべて 0 の場合、不明な MAC アドレスを意味します。
対象バージョン	1.01.01
対応	CFM 機能を設定しているポートの接続、および本装置と隣接装置の設定を確認してください。

ログ表示	CFM error ccm. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>) Remote (MEPID:<mep-id>, MAC:<mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	エラーの CFM CCM パケットが検知されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : 「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。値が 0 の場合、不明な MEPID を意味します。 <mac-address> : MEP の MAC アドレスを示します。値がすべて 0 の場合、不明な MAC アドレスを意味します。

## 1.6 CFM

対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置のCFM機能の設定、および状態を確認してください。

ログ表示	CFM remote down. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リモート MEP の CCM パケットを受信できないことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置のCFM機能の設定、および状態を確認してください。

ログ表示	CFM remote MAC error. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リモート MEP で MAC アドレスのエラー状態を検知したことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置のCFM機能の設定、および状態を確認してください。

ログ表示	CFM remote detects a defect. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	リモート MEP で CFM の不備を検知したことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> :

## 1.6 CFM

	MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP の インターフェイス番号を示します。 <mep-direction> : MEP の 方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置の CFM 機能の設定、および状態を確認してください。

## 1.7 CFM Extension

ログ表示	AIS condition detected. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	AIS 状態が検知されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置の状態を確認してください。

ログ表示	AIS condition cleared. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	AIS 状態が解消されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要



## 1.7 CFM Extension

ログ表示	LCK condition detected. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LCK 状態が検知されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	CFM 機能を設定しているポートの接続、および本装置と隣接装置の設定を確認してください。

ログ表示	LCK condition cleared. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LCK 状態が解消されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.8 Configuration / Firmware

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Firmware upgraded by <session> successfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファームウェアが正常にアップグレードされたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。 <session> : ユーザーのセッションを示します。 <user-name> : 現在のログインユーザーを示します。 <ip-address> : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。 <mac-address> : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。 <server-ip> : サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Firmware upgraded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ファームウェアのアップグレードが失敗したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。 <session> :

	<p>ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; : ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	<p>1. 01. 01</p> <p>1. 06. 01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	<p>指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。</p> <p>指定したファイル名が正しいか確認してください。</p> <p>指定したファイルが正常なファイルか確認してください。</p>

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Firmware uploaded by <session> successfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファームウェアが正常にアップロードされたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; :</p>

## 1.8 Configuration / Firmware

	ファイル名を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Firmware uploaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ファームウェアのアップロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。 <session> : ユーザーのセッションを示します。 <user-name> : 現在のログインユーザーを示します。 <ip-address> : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。 <mac-address> : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。 <server-ip> : サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Configuration downloaded by <session> successfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	構成情報が正常にダウンロードされたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。

	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; : ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Configuration downloaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	構成情報のダウンロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p>

1.8 Configuration / Firmware

	<filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。 指定したファイル名が正しいか確認してください。 指定したファイルが正常なファイルか確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Configuration uploaded by <session> successfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	構成情報が正常にアップロードされたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。 <session> : ユーザーのセッションを示します。 <user-name> : 現在のログインユーザーを示します。 <ip-address> : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。 <mac-address> : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。 <server-ip> : サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Configuration uploaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>], Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	構成情報のアップロードが失敗したことを示します。

パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; : ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Log message uploaded by <session> successfully. (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>])
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ログメッセージが正常にアップロードされたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出</p>

## 1.8 Configuration / Firmware

	<p>力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; : ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Log message uploaded by <session> unsuccessfully. (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>])
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ログメッセージのアップロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; : ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] [Unit <unit-id>, ]Downloaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>])
レベル	Warning (4)



## 1.8 Configuration / Firmware

イベントの説明	未知のタイプのファイルのダウンロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;session&gt; : ユーザーのセッションを示します。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : クライアントの MAC アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。また、クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と出力されます。</p> <p>&lt;server-ip&gt; : サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;filename&gt; : ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	<p>指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。</p> <p>指定したファイル名が正しいか確認してください。</p> <p>指定したファイルが正常なファイルか確認してください。</p>

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]Configuration saved to flash [by console] (Username: <user-name>[, IP: <ip-address>])
レベル	Informational (6)
イベントの説明	構成情報がフラッシュに保存されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。スタック未使用時は出力されません。</p> <p>&lt;user-name&gt; : 現在のログインユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : クライアントの IP アドレスを示します。コンソール経由の場合は出力されません。代わりに「by console」が出力されます。</p>
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

## 1.9 Console

ログ表示	Successful login through Console (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	コンソールへのログインに成功したことを示します。
パラメーター	<user-name> : コンソールへのログインに使用したユーザーを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Login failed through Console (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	コンソールへのログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<user-name> : コンソールへのログインに使用したユーザーを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。

ログ表示	Logout through Console (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	コンソールからユーザーがログアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : コンソールへのログインに使用したユーザーを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Console session timed out (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	コンソールセッションがタイムアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : コンソールへのログインに使用したユーザーを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.10 Counter

ログ表示	Detected <counter> <error-counter-name> on mgmt0
レベル	Notification (5)
イベントの説明	マネージメントポートにおいて、エラーカウンターのカウントを検知したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;counter&gt; : カウント数を示します。</p> <p>&lt;error-counter-name&gt; : エラーカウンターの名前を示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• rxFCSErrorPkts</li> <li>• rxAlignmentErrorPkts</li> <li>• rxCodeErrorPkts</li> <li>• rxUndersizedPkts</li> <li>• rxOversizedPkts</li> <li>• rxFragmentPkts</li> <li>• rxJabbers</li> <li>• rxDropPkts</li> <li>• txExcessiveDeferralPkts</li> <li>• txFCSErrorPkts</li> <li>• txLateCollisionPkts</li> <li>• txExcessiveCollisionPkts</li> <li>• txDropPkts</li> </ul>
対象バージョン	1.01.01
対応	ケーブルの挿抜による場合と、半二重通信に起因する場合は対応不要です。本ログが頻繁に発生する場合は、隣接装置と本装置、伝送路について接続状態、および設定を確認してください。

## 1.11 DHCPv4 Relay

ログ表示	Cannot send packet
レベル	Error (3)
イベントの説明	DHCPv4 リレーがパケットを送信できないことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	装置の設定、または回線に異常が発生している可能性がありますので、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 装置の設定状態</li><li>• 回線、および接続ポートの異常有無</li></ul>

## 1.12 DHCPv4 Server

ログ表示	DHCP server
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv4 サーバーが有効化されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	DHCPDISCOVER from <mac-address> via <vlan-name   giaddr>:unknown network segment
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCP サーバー機能または DHCP リレー機能において、不明ネットワークセグメントからの DHCP DISCOVER パケットを受信したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : DHCP クライアントの MAC アドレスを示します。 <vlan-name> : DHCP DISCOVER パケットを受信した VLAN 名を示します。 <giaddr> : パケットから取得したリレーエージェント IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	DHCP サーバー機能または DHCP リレー機能に関する設定内容を確認してください。

ログ表示	Packet from unknown subnet: <ip-address>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	パケットの送信元を識別できないことを示します。
パラメーター	<ip-address> : 未知の IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	DHCPREQUEST for <client-ip> (<server-ip>) from <mac-address> (<host-name>) via <vlan-name   giaddr>: lease <client-ip> unavailable
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv4 サーバーにおいて割り当てられる IP アドレスがないことを示します。
パラメーター	<client-ip> : DHCP クライアントが要求した IP アドレスを示します。 <server-ip> :

## 1.12 DHCPv4 Server

	<p>DHCPv4 サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : DHCP クライアントの MAC アドレスを示します。</p> <p>&lt;host-name&gt; : DHCP クライアントのホスト名を示します。</p> <p>&lt;vlan-name&gt; : DHCPv4 サーバーが有効化された VLAN 名を示します。</p> <p>&lt;giaddr&gt; : パケットから取得したリレーエージェント IP アドレスを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Cannot send packet
レベル	Error (3)
イベントの説明	DHCPv4 サーバーがパケットを送信できないことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>装置の設定、または回線に異常が発生している可能性がありますので、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 装置の設定状態</li> <li>• 回線、および接続ポートの異常有無</li> </ul>

## 1.13 DHCPv6 Client

ログ表示	DHCPv6 client on interface <ipif-name> changed state to enabled DHCPv6 client on interface <ipif-name> changed state to disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	対象 VLAN インターフェースにおいて、ipv6 address dhcp コマンドで DHCPv6 クライアントが有効、または無効に設定されたことを示します。
パラメーター	<ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	DHCPv6 client obtains an IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 クライアントは、DHCPv6 サーバーから IPv6 アドレスを取得したことを示します。
パラメーター	<ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。 <ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> starts renewing
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスの更新を開始したことを示します。
パラメーター	<ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。 <ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> renews success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスは、正常に更新されたことを示します。

## 1.13 DHCPv6 Client

パラメーター	<p>&lt;ipv6-address&gt; : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipif-name&gt; : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> starts rebinding
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスのリバインディングを開始したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;ipv6-address&gt; : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipif-name&gt; : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> rebinds success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスは、正常にリバインディングされたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;ipv6-address&gt; : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipif-name&gt; : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> was deleted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスが削除されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;ipv6-address&gt; : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipif-name&gt; : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要



## 1.13 DHCPv6 Client

ログ表示	DHCPv6 client PD on interface <intf-name> changed state to enabled DHCPv6 client PD on interface <intf-name> changed state to disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	対象 VLAN インターフェースにおいて、ipv6 dhcp client pd コマンドで DHCPv6-PD クライアントが有効、または無効に設定されたことを示します。
パラメーター	<intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	DHCPv6 client PD obtains an IPv6 prefix <ipv6-network-address> on interface <intf-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 クライアント PD は、委譲ルーターから IPv6 プレフィックスを取得したことを示します。
パラメーター	<ipv6-network-address> : 委譲ルーターから取得した ipv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-network-address> on interface <intf-name> starts renewing
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスの更新を開始したことを示します。
パラメーター	<ipv6-network-address> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-network-address> on interface <intf-name> renews success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスが正常に更新されたことを示します。

### 1.13 DHCPv6 Client

パラメーター	<ipv6-network-address> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-network-address> on interface <intf-name> starts rebinding
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスのリバインディングを開始したことを示します。
パラメーター	<ipv6-network-address> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-network-address> on interface <intf-name> rebinds success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを正常にリバインディングしたことを示します。
パラメーター	<ipv6-network-address> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-network-address> on interface <intf-name> was deleted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスが削除されたことを示します。
パラメーター	<ipv6-network-address> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01

### 1.13 DHCPv6 Client

対応	不要
----	----

## 1.14 DHCPv6 Relay

ログ表示	DHCPv6 relay on interface <ipif-name> changed state to enabled DHCPv6 relay on interface <ipif-name> changed state to disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	対象 VLAN インターフェースにおいて、ipv6 dhcp relay destination コマンドで DHCPv6 リレーが有効、または無効に設定されたことを示します。対象 VLAN インターフェースで最初の 1 つが設定された際に有効ログが出力され、1 つも設定が無くなった際に無効ログが出力されます。
パラメーター	<ipif-name> : DHCPv6 リレーエージェントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Cannot send packet6
レベル	Error (3)
イベントの説明	DHCPv6 リレーがパケットを送信できないことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	装置の設定、または回線に異常が発生している可能性がありますので、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 装置の設定状態</li> <li>• 回線、および接続ポートの異常有無</li> </ul>

## 1.15 DHCPv6 Server

ログ表示	The address of the DHCPv6 Server pool <pool-name> is used up
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバープールのアドレスを使い切ったことを示します。
パラメーター	<pool-name> : DHCPv6 サーバープールの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	DHCPv6 サーバープールにおいて割り当て可能なアドレス数の設定を見直してください。

ログ表示	The number of allocated IPv6 addresses of the DHCPv6 Server pool is equal to 4096
レベル	Informational (6)
イベントの説明	割り当て済み IPv6 アドレス数が、4096 になったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	DHCPv6 クライアントが上限 (4096) を超えないようにしてください。

ログ表示	DHCPv6 server
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーが有効化されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	No subnet found for link-addr: <ipv6-address>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーにおいて、DHCPv6 リレーパケットを受信したが、中継元ネットワークのサブネット情報が存在しないことを示します。
パラメーター	<ipv6-address> : リレーされたパケットから取得した IPv6 リンクアドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	DHCP サブネット定義を見直してください。

ログ表示	<dhcpv6-type> from <client-duid> via <vlan-name> not leased status=NoAddrsAvail
レベル	Informational (6)

## 1.15 DHCPv6 Server

イベントの説明	DHCPv6 サーバーにおいて割り当てられる IPv6 アドレスがないことを示します。
パラメーター	<p>&lt;dhcpv6-type&gt; : DHCPv6 メッセージタイプを示します。</p> <p>&lt;client-duid&gt; : DHCPv6 クライアントの DUID を示します。</p> <p>&lt;vlan-name&gt; : 受信したパケットから取得した VLAN 名を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	割り当てる IPv6 アドレスの範囲を見直してください。

ログ表示	Cannot send packet6
レベル	Error (3)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーがパケットを送信できないことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>装置の設定、または回線に異常が発生している可能性がありますので、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 装置の設定状態</li> <li>• 回線、および接続ポートの異常有無</li> </ul>

ログ表示	A problem was encountered with the process
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバードプロセスが異常であることを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	"clear ipv6 dhcp binding" コマンドを実行して復旧させてください。

## 1.16 ERPS

ログ表示	Signal fail detected on node (MAC: <mac-address>, instance <erps-instance-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	1つのリングノードで信号障害を検知したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : ノードのシステム MAC アドレスを示します。 <erps-instance-id> : ノードのインスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	ERPS 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。意図的な障害であれば対応は不要です。

ログ表示	Signal fail cleared on node (MAC: <mac-address>, instance <erps-instance-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	1つのリングノードの信号障害が解消されたことを示します。
パラメーター	<mac-address> : ノードのシステム MAC アドレスを示します。 <erps-instance-id> : ノードのインスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	RPL owner conflict on the node (MAC: <mac-address>, instance <erps-instance-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リング RPL オーナーノードで他の RPL オーナーノードを検知したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : ノードのシステム MAC アドレスを示します。 <erps-instance-id> : ノードのインスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	本装置、および同一リング内の装置の ERPS 設定を見直してください。

## 1.17 Fan

ログ表示	Unit <unit-id>, Fan module <fan-module-id> back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファンモジュールが復旧したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-module-id> : ファンのモジュール ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Fan module <fan-module-id> failed
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ファンモジュールが異常であることを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-module-id> : ファンのモジュール ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	"show unit" コマンド、および "show environment" コマンドで状況を確認後、 "show tech-support" コマンドで各種情報を取得し、必要があればファンモ ジュールの交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Attached fan module <fan-module-id>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	装置にファンモジュールが取り付けられたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-module-id> : ファンのモジュール ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Detached fan module <fan-module-id>
レベル	Critical (2)
イベントの説明	装置からファンモジュールが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> :



## 1.17 Fan

	ボックス ID を示します。 <fan-module-id> : ファンのモジュール ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Fan module <fan-module-id> airflow back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファンモジュールの吸排気方向不一致が解消したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-module-id> : ファンのモジュール ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Fan module <fan-module-id> detect abnormal <airflow-type> airflow
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ファンモジュールの吸排気方向不一致を検知したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-module-id> : ファンのモジュール ID を示します。 <airflow-type> : 異常を検知したファンモジュールの吸排気方向を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	"show unit" コマンド、および "show environment" コマンドで状況を確認後、 "show tech-support" コマンドで各種情報を取得し、必要があればファンモ ジュールの交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Power <power-id> fan back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	電源ユニットのファンが復旧したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <power-id> : 電源ユニット ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.17 Fan

ログ表示	Unit <unit-id>, Power <power-id> fan failed
レベル	Critical (2)
イベントの説明	電源ユニットのファンが異常であることを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <power-id> : 電源ユニット ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	"show unit"コマンド、および"show environment"コマンドで状況を確認後、 "show tech-support"コマンドで各種情報を取得し、必要があれば電源ユニット の交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, abnormal air flow back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	電源ユニットの吸排気方向不一致が解消したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, detecting abnormal air flow
レベル	Critical (2)
イベントの説明	電源ユニットの吸排気方向不一致を検知したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	"show unit"コマンド、および"show environment"コマンドで状況を確認後、 "show tech-support"コマンドで各種情報を取得し、必要があれば電源ユニット の交換をご検討ください。

## 1.18 ファイルシステム

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]SD Card access failed
レベル	Error (3)
イベントの説明	SD メモリーカードへのアクセスに失敗したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.01
対応	SD メモリーカードの LOCK が設定されていないことを確認の上、SD メモリーカードを挿し直して、コマンドを再実行してください。その後も本ログが出力する場合は、SD メモリーカードを交換してください。

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]flash access failed
レベル	Error (3)
イベントの説明	ローカルフラッシュへのアクセスに失敗したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.01
対応	装置のフラッシュメモリーが故障している可能性があります。サポート対応窓口までお問合せください。

## 1.19 IP ディレクテッドブロードキャスト

ログ表示	IP Directed Broadcast packet rate is high on subnet (IP: <ip-address>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IP ディレクテッドブロードキャストのレートが、特定のサブネット上で1秒間に50パケットを超えたことを示します。
パラメーター	<ip-address> : IP ディレクテッドブロードキャストの宛先 IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	IP ディレクテッドブロードキャストの送信元端末から不要な IP ディレクテッドブロードキャストパケットを送信していないか確認してください。

ログ表示	IP Directed Broadcast rate is high
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IP ディレクテッドブロードキャストのレートが、1秒間に100パケットを超えたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	IP ディレクテッドブロードキャストの送信元端末から不要な IP ディレクテッドブロードキャストパケットを送信していないか確認してください。

## 1.20 L3 エントリー

ログ表示	L3 host <ip-address> could not be added to the cache table
レベル	Warning (4)
イベントの説明	L3 エントリーがハッシュ衝突でエントリー登録できないことを示します。
パラメーター	<ip-address> : L3 エントリーがハッシュ衝突でエントリー登録できない IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

## 1. 21 LACP

ログ表示	Link Aggregation Group <group-id> link up
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートチャネルグループがリンクアップしたことを示します。
パラメーター	<group-id> : リンクアップしたポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	Link Aggregation Group <group-id> link down
レベル	Error (3)
イベントの説明	ポートチャネルグループがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<group-id> : リンクダウンしたポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	意図的なリンクダウンであれば対応は不要です。 LACP の他のいずれかのポートが Up であれば通信可能ですが、ネットワーク機器、または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	<ifname> attach to Link Aggregation Group <group-id>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	メンバーポートがポートチャネルグループに所属したことを示します。
パラメーター	<ifname> : ポートチャネルに所属するポートのインターフェース名を示します。 <group-id> : ポートの所属先ポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	<ifname> detach from Link Aggregation Group <group-id>
レベル	Error (3)
イベントの説明	メンバーポートがポートチャネルグループから離脱したことを示します。
パラメーター	<ifname> : ポートチャネルから離脱するポートのインターフェース名を示します。 <group-id> : ポートを離脱するポートチャネルのグループ ID を示します。

## 1.21 LACP

対象バージョン	1.01.01
対応	意図的なリンクダウンであれば対応は不要です。 LACP の他のいずれかのポートが Up であれば通信可能ですが、ネットワーク機器、または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	LACP: LAG <group-id> detected multiple system-id on <ifname>
レベル	Error (3)
イベントの説明	同じ LACP 上で複数の装置が接続されたことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートチャンネルのグループ ID を示します。 <ifname> : ポートのインターフェース名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	ポートチャンネルグループ<group-id>に接続された対向装置が複数に跨っているか、もしくはシステム ID、システム優先度のいずれかの設定が誤っている可能性があります。ポートチャンネルグループ<group-id>に接続された対向装置、および装置の LACP 設定を確認してください。

ログ表示	LACP: LAG <group-id> detected timeout mismatch on <ifname>
レベル	Error (3)
イベントの説明	LACP タイムアウト設定の誤りを検知したことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートチャンネルのグループ ID を示します。 <ifname> : ポートのインターフェース名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	本装置または対向装置の LACP タイムアウト設定を見直し、本装置と対向装置で LACP タイムアウト設定を揃えてください。

ログ表示	LACP: LAG <group-id> LACPDU receive timer expired on <ifname>
レベル	Error (3)
イベントの説明	LACP タイマーが満了したことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートチャンネルのグループ ID を示します。 <ifname> : ポートのインターフェース名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	ポートがリンクダウンしている場合、対応は不要です。 ポートがリンクアップしている場合、接続している対向装置のポートが LACP ポートでないか、もしくは伝送路に障害が発生した可能性があります。対向装

## 1.21 LACP

	置のポート設定、および伝送路を確認してください。
--	--------------------------



## 1.22 ポートリダンダント

ログ表示	Redundant <group-id>: Active interface has been changed to secondary <port-num>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	アクティブポートがプライマリーからセカンダリーに切り替わったことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートリダンダントグループのグループ ID を示します。 <port-num> : セカンダリーポートのポート番号を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	計画的なリンクダウンか、もしくは設定変更があった場合は、対応は不要です。 ポートリダンダント機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	Redundant <group-id>: Active interface has been changed to primary <port-num>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	アクティブポートがセカンダリーからプライマリーに切り戻ったことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートリダンダントグループのグループ ID を示します。 <port-num> : プライマリーポートのポート番号を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	Redundant <group-id>: All interfaces go down
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートリダンダントのメンバーポートが、すべてリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートリダンダントグループのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

## 1.22 ポートリダンダント

ログ表示	Redundant: All FDB entries have been deleted by receiving FDB Flush frame.
レベル	Warning (4)
イベントの説明	装置が FDB フラッシュフレームを受信し、MAC アドレステーブルのすべてのエントリをクリアしたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

## 1.23 LLDP

ログ表示	LLDP-MED topology change detected on port <port-num>. (chassis id: <chassis-type>, <chassis-id>, port id: <port-type>, <port-id>, device class: <device-class>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LLDP-MED トポロジーの変更が検知されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;port-num&gt; : ポート番号を示します。</p> <p>&lt;chassis-type&gt; : シャーシ ID サブタイプを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• chassisComponent (1)</li> <li>• interfaceAlias (2)</li> <li>• portComponent (3)</li> <li>• macAddress (4)</li> <li>• networkAddress (5)</li> <li>• interfaceName (6)</li> <li>• local (7)</li> </ul> <p>&lt;chassis-id&gt; : シャーシ ID を示します。</p> <p>&lt;port-type&gt; : ポート ID サブタイプを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• interfaceAlias (1)</li> <li>• portComponent (2)</li> <li>• macAddress (3)</li> <li>• networkAddress (4)</li> <li>• interfaceName (5)</li> <li>• agentCircuitId (6)</li> <li>• local (7)</li> </ul> <p>&lt;port-id&gt; : ポート ID を示します。</p> <p>&lt;device-class&gt; : LLDP-MED 装置タイプを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Conflict LLDP-MED device type detected on port <port-num>, (chassis id: <chassis-type>, <chassis-id>, port id: <port-type>, <port-id>, device class: <device-class>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LLDP-MED 装置タイプの不一致が検知されたことを示します。

パラメーター	<p>&lt;port-num&gt; : ポート番号を示します。</p> <p>&lt;chassis-type&gt; : シャーシ ID サブタイプを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• chassisComponent (1)</li> <li>• interfaceAlias (2)</li> <li>• portComponent (3)</li> <li>• macAddress (4)</li> <li>• networkAddress (5)</li> <li>• interfaceName (6)</li> <li>• local (7)</li> </ul> <p>&lt;chassis-id&gt; : シャーシ ID を示します。</p> <p>&lt;port-type&gt; : ポート ID サブタイプを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• interfaceAlias (1)</li> <li>• portComponent (2)</li> <li>• macAddress (3)</li> <li>• networkAddress (4)</li> <li>• interfaceName (5)</li> <li>• agentCircuitId (6)</li> <li>• local (7)</li> </ul> <p>&lt;port-id&gt; : ポート ID を示します。</p> <p>&lt;device-class&gt; : LLDP-MED 装置タイプを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置の LLDP 設定を確認してください。

ログ表示	Incompatible LLDP-MED TLV set detected on port <port-num>, (chassis id: <chassis-type>, <chassis-id>, port id: <port-type>, <port-id>, device class: <device-class>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	互換性のない LLDP-MED TLV セットが検知されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;port-num&gt; : ポート番号を示します。</p> <p>&lt;chassis-type&gt; : シャーシ ID サブタイプを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• chassisComponent (1)</li> <li>• interfaceAlias (2)</li> <li>• portComponent (3)</li> <li>• macAddress (4)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• networkAddress (5)</li> <li>• interfaceName (6)</li> <li>• local (7)</li> </ul> <p>&lt;chassis-id&gt; : シャーシ ID を示します。</p> <p>&lt;port-type&gt; : ポート ID サブタイプを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• interfaceAlias (1)</li> <li>• portComponent (2)</li> <li>• macAddress (3)</li> <li>• networkAddress (4)</li> <li>• interfaceName (5)</li> <li>• agentCircuitId (6)</li> <li>• local (7)</li> </ul> <p>&lt;port-id&gt; : ポート ID を示します。</p> <p>&lt;device-class&gt; : LLDP-MED 装置タイプを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	隣接装置の LLDP 設定を確認してください。

ログ表示	LLDP disabled port <port-num> by error
レベル	Error (3)
イベントの説明	疑似リンクダウン機能によって疑似リンクダウン状態へ遷移したことを示します。
パラメーター	<port-num> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	通信経路の通信に障害が発生している可能性があります。伝送路、SFP/SFP+ ポート、および装置状態を確認して通信障害を復旧させてください。

ログ表示	LLDP reset port <port-num>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	疑似リンクダウン状態からリンクアップ状態へ遷移したことを示します。
パラメーター	<port-num> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

## 1.24 ループ検知

ログ表示	<interface-id> loop occurred
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースでループを検知したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : ループが検知されているインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）でネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。</p> <p>自動復旧設定（"errdisable recovery cause loop-detection" コマンド）の場合は、シャットダウン（err-disabled 状態に変更）されてから設定した時間が経過すると、インターフェースの閉塞は自動的に復旧されます。</p> <p>シャットダウン（err-disabled 状態に変更）されたインターフェースを手動で復旧させる場合は、"shutdown" コマンドで一度閉塞してから、"no shutdown" コマンドでインターフェースの閉塞を解除してください。</p>

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> loop occurred
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN でループを検知したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : ループが検知されているインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : ループが検知されている VLAN を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）の特定 VLAN でネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。</p> <p>自動復旧設定（"errdisable recovery cause loop-detection" コマンド）の場合は、対象 VLAN が送受信不可状態に変更されてから設定した時間が経過すると、送受信不可状態は自動的に復旧されます。</p> <p>送受信不可状態に変更された対象 VLAN を手動で復旧させる場合は、対象インターフェースを "shutdown" コマンドで一度閉塞してから、"no shutdown" コマンドでインターフェースの閉塞を解除してください。対象インターフェースを一度閉塞するため、そのインターフェースのすべての通信が一時的に通信断になることに注意してください。</p>

ログ表示	<interface-id> loop recovered
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースのループが復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> :

## 1.24 ループ検知

	復旧したインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.01.01 なお、1.04.01 以降では本ログは出力されません。
対応	検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）でネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> loop recovered
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN で検知したループが復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : 復旧した VLAN を示します。
対象バージョン	1.01.01 なお、1.04.01 以降では本ログは出力されません。
対応	検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）の特定 VLAN でネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> recovers from Loopback Detection err-disabled state automatically
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースで検知したループが、自動的に復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）でネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> recovers from Loopback Detection err-disabled state manually
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースで検知したループが、手動で復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

## 1.24 ループ検知

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> recovers from Loopback Detection error-disabled state automatically
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN で検知したループが、自動的に復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : 復旧した VLAN を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）の特定 VLAN でネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> recovers from Loopback Detection error-disabled state manually
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN で検知したループが、手動で復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : 復旧した VLAN を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	Loop VLAN numbers overflow
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ループを検知した VLAN 数がループ検知可能な最大数（装置全体で最大 100 個）を超えたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	ループを検知した VLAN 数がループ検知可能な最大数を超えた状態では、それ以上ループを検知できません。そのため、ループ検知ログが出力されていない VLAN でもネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。



## 1.25 メモリーエラー自動復旧

ログ表示	Detected system-abnormal (Unit <unit-id>, memory-error, action=shutdown)
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	SW-LSI のメモリーエラー検知により、全ポートのシャットダウンが実行されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	メモリーエラー自動復旧機能が無効の場合には、“clear memory-error”コマンドを実行して SW-LSI のメモリーエラー状態を復旧させてください。 “clear memory-error”コマンドを実行しても、すぐにメモリーエラーを検知する場合には、SW-LSI のメモリー障害の可能性があります。装置交換をご検討ください。

ログ表示	Memory error of switch LSI was recovered automatically (Unit <unit-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	メモリーエラー自動復旧機能で SW-LSI メモリーのパリティエラーが自動復旧されたこと、または SW-LSI メモリーの ECC エラーが自動訂正されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	Hardware error was detected on switch LSI
レベル	Alert (1)
イベントの説明	以下のような SW-LSI ハードウェアエラーが検知されると通知が送信されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SW-LSI の同じメモリー領域で、メモリーエラーの検出および復旧アクションが 10 回以上動作して、監視対象外になった場合。</li> <li>SW-LSI の復旧不能なメモリーエラーが検出された場合。</li> </ul>
パラメーター	なし
対象バージョン	1.03.01
対応	SW-LSI のメモリー障害の可能性があります。装置交換をご検討ください。

ログ表示	Hardware errors were fixed on switch LSI
レベル	Notification (5)
イベントの説明	「SW-LSI の同じメモリー領域で、メモリーエラーの検出および復旧アクションが 10 回以上動作して、監視対象外になった状態」で“clear memory-error”コマ

## 1.25 メモリーエラー自動復旧

	<p>ンドを実行し、メモリーエラー自動復旧機能をリストアした場合に通知が送信されます。</p> <p>なお、「SW-LSI の復旧不能なメモリーエラーを検出している状態」では、“clear memory-error”コマンドを実行してもリストアされません。</p>
パラメーター	なし
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	Parity error on switch LSI was recovered
レベル	Notification (5)
イベントの説明	SW-LSI メモリーのパリティエラーが手動で復旧されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	Parity error was detected on Unit <unit-id>, <memory-name>, <index>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	SW-LSI メモリーエラー（パリティエラーまたは ECC エラー）が検出されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;memory-name&gt; : パリティエラーが検出されたメモリー名を示します。</p> <p>&lt;index&gt; : パリティエラーが検出されたメモリーインデックスを示します。</p>
対象バージョン	1.03.01
対応	<p>SW-LSI のメモリーにおいてパリティエラーが発生している可能性があります。速やかに“clear memory-error”コマンドを実行し、事象が復旧するかどうかご確認ください。</p> <p>“clear memory-error”コマンドで事象が復旧した場合は、そのまま継続してご使用ください。複数回“clear memory-error”コマンド入力後も事象が再発する場合には、装置再起動をお願いします。再起動後も事象が再発する場合には、装置交換をご検討ください。</p>

## 1.26 MMRP-Plus

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes DOWN status
レベル	Error (3)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Down 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	計画的なリンクダウンであれば対応は不要です。 MMRP-Plus 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes LISTENING status
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Listening 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	MMRP-Plus 機能の状態遷移が発生したとき、過渡状態で本ログが出力されます。本ログへの対応は不要ですが、前後のログへの対応を行ってください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> Listening Time out
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Listening 状態に遷移し、リスニングタイマーが満了になったことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	障害が発生したリングを復旧させたときに本ログが出力された場合は、障害が残存している可能性があります。リングの状態を確認してください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes FORWARDING status
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Forwarding 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	マスターで本ログが出力された場合は、ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。 アウェアで本ログが出力された場合は、対応不要です。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes BLOCKING status
レベル	Notification (5)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Blocking 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes FAILURE UP status
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Failure 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	Failure 状態からの切り戻り方法の設定により、以下のとおり対応してください。 自動切り戻りを設定している場合は、切り戻りタイマー経過後にリング復旧処理が開始されます。 手動切り戻りを設定している場合は、“clear mmrp-plus failure ring”コマンドを実行し、リング復旧処理を開始してください。

## 1.26 MMRP-Plus

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> Revertive Time out
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Failure 状態に遷移し、Revertive タイマーが満了したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> All uplink port goes down
レベル	Error (3)
イベントの説明	MMRP-Plus の分散リングのアップリンクポートがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。
対象バージョン	1.05.01
対応	MMRP-Plus 機能によって通信を持続できない状態になっています。 分散マスター装置、または分散スレーブ装置から出力した場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>アップリンク側へのトラフィックは、リンクアップしている装置側に集中している状態です。</li> </ul> 分散マスター装置、および分散スレーブ装置の両装置から出力した場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>アップリンク側との通信が途絶えた状態です。</li> <li>ハローフレームの送信が停止された状態となり、MMRP-Plus 機能による通信を維持できない状態です。</li> </ul> いずれの場合も、アップリンクポートのリンクダウン障害、またはアップリンクポートに接続した隣接装置の障害の可能性があります。これらの障害を復旧してください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> FDB Flush
レベル	Notification (5)
イベントの説明	MMRP-Plus により FDB エントリーが消去されたことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	MMRP-Plus 機能の状態遷移が発生したとき、過渡状態で本ログが出力されます。本ログへの対応は不要ですが、前後のログへの対応を行ってください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> FDB Forwarding Timer Updated
------	--

## 1.26 MMRP-Plus

レベル	Notification (5)
イベントの説明	FDB フラッシュイベントを検出し、MAC アドレスの学習を停止する時間が更新されたことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	MMRP-Plus 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <Master Slave> <interface-id> Hello down detect
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ハローフレームの未受信を検知したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <Master> : MMRP-Plus のリングポートがマスターポートであることを示します。 <Slave> : MMRP-Plus のリングポートがスレーブポートであることを示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <Master Slave> <interface-id> Hello detect
レベル	Notification (5)
イベントの説明	ハローフレームの再受信を検知したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <Master> : MMRP-Plus のリングポートがマスターポートであることを示します。 <Slave> : MMRP-Plus のリングポートがスレーブポートであることを示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

## 1.26 MMRP-Plus

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <Master Slave> <interface-id> Hello Time out
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ハローフレームの受信タイムアウト時間が経過したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <Master> : MMRP-Plus のリングポートがマスターポートであることを示します。 <Slave> : MMRP-Plus のリングポートがスレーブポートであることを示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	MMRP-Plus 機能の冗長性により通信可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路に障害が発生したか、復旧した可能性があります。ネットワークの状態を確認してください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> was restarted
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートルিসタート機能によりリンクを瞬断したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	MMRP-Plus 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路の障害が発生したが、復旧した可能性があります。ネットワークの状態を確認してください。

## 1.27 OSPFv2

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF NFSM[<intf-name>:<addr>-<router-id>]: Status change <state> -> <state>(event <event>)
レベル	Informational (6)、または Debugging (7)
イベントの説明	OSPF ネイバーの状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <addr> : インターフェースの IP アドレスを示します。 <router-id> : OSPF ルーターID を示します。 <state> : OSPF ネイバーの状態を示します。 <event> : OSPF イベントを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	イベント<event>の内容による対応を以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• KillNbr : 本装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。</li> <li>• InactivityTimer : 本装置、および対向装置のインターフェースのリンク状態、本装置と対向装置の OSPF、およびインターフェースのリンクに関する設定を確認してください。</li> <li>• 1-WayReceived : 対向装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。</li> <li>• BadLSReq、SeqNumberMismatch : 対向装置の状態を確認してください。</li> </ul> 上記以外の場合は対応不要です。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF IFSM[<intf-name>:<addr>]: Status change <state> -> <state>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	OSPF インターフェースの状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <addr> : インターフェースの IP アドレスを示します。



	<p>&lt;state&gt; :</p> <p>OSPF インターフェースの状態を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	<p>新しい&lt;state&gt;が Down の場合は、本装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。それ以外の場合は、対応不要です。</p>

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF SPF: Calculation finished
レベル	Informational (6)
イベントの説明	OSPF の SPF 計算が終了したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; :</p> <p>VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RECV[<type>]: From <router-id> via <intf-name>:<addr>: OSPF checksum error <valid-sum>/<invalid-sum>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	チェックサム値に誤りがある OSPF パケットを受信したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; :</p> <p>VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;type&gt; :</p> <p>OSPF パケットのタイプを示します。</p> <p>&lt;router-id&gt; :</p> <p>OSPF ルーターID を示します。</p> <p>&lt;intf-name&gt; :</p> <p>OSPF インターフェースの名前を示します。</p> <p>&lt;addr&gt; :</p> <p>受信した OSPF パケットの送信元 IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;valid-sum&gt; :</p> <p>受信した OSPF パケットのチェックサム値が有効であることを示します。</p> <p>&lt;invalid-sum&gt; :</p> <p>受信した OSPF パケットのチェックサム値が無効であることを示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	<p>本装置、および対向装置の OSPF 機能の認証に関する設定を確認してください。パケットキャプチャーにより OSPF パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。</p>

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RECV[<type>]: From <router-id> via <intf-name>:<addr>: Authentication type mismatch
レベル	Warning (4)
イベントの説明	受信した OSPF パケットに、OSPF 認証タイプの不一致エラーが存在することを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <type> : OSPF パケットのタイプを示します。 <router-id> : OSPF ルーターID を示します。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <addr> : 受信した OSPF パケットの送信元 IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	本装置、および対向装置の OSPF 機能の認証に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより OSPF パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RECV[<type>]: From <router-id> via <intf-name>:<addr>: Authentication error
レベル	Warning (4)
イベントの説明	受信した OSPF パケットの OSPF 認証に失敗したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <type> : OSPF パケットのタイプを示します。 <router-id> : OSPF ルーターID を示します。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <addr> : 受信した OSPF パケットの送信元 IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	本装置、および対向装置の OSPF 機能の認証に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより OSPF パケットの中身を調べ、異常有無を確認して

	ください。
--	-------

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RECV[<type>]: From <router-id> via <intf-name>:<addr>: MD5 authentication error
レベル	Warning (4)
イベントの説明	受信した OSPF パケットの MD5 認証に失敗したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <type> : OSPF パケットのタイプを示します。 <router-id> : OSPF ルーターID を示します。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <addr> : 受信した OSPF パケットの送信元 IP アドレスを示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	当該インターフェースの各 OSPF 機能が動作している装置の OSPF 機能の認証方式や、MD5 ダイジェストキーが一致しているか確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-4-INTFSTATECHANGE: OSPF interface <intf-name> changed state to [Up   Down]
レベル	Warning (4)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF インターフェースのリンク状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	該当インターフェースが意図せずにダウンした場合は、ネットワーク内の配線、接続などを確認して原因を取り除いてください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-6-INTFADMINCHANGE: OSPF protocol on interface <intf-name> changed state to Enabled [VRF <vrf-name>] OSPF-6-INTFADMINCHANGE: OSPF protocol on interface <intf-name> changed state to Disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 インターフェースの OSPF プロトコル状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-6-INTFAREACHANGE: OSPF interface <intf-name> changed from area <area-id> to area <area-id>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 インターフェースのエリアが、別のエリアに変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <area-id> : OSPF エリア ID を示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-5-NBRLOADINGTOFULL: OSPF nbr <nbr-id> on interface <intf-name> changed state from Loading to Full
レベル	Notification (5)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF ネイバー状態が、Loading から Full に変わったことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表

	示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <nbr-id> : 隣接ルーターID を示します。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-5-NBRFULLTODOWN: OSPF nbr <nbr-id> on interface <intf-name> changed state from Full to Down
レベル	Notification (5)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF ネイバー状態が、Full から Down に変わったことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <nbr-id> : 隣接ルーターID を示します。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	当該インターフェースでネイバー関係が切断された可能性があります。ネットワーク内の配線、接続などを確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-5-DTIMEXPIRED: OSPF nbr <nbr-id> on interface <intf-name> dead timer expired
レベル	Notification (5)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF ネイバー状態のデッドタイマーが切れたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <nbr-id> : 隣接ルーターID を示します。 <intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1. 01. 01 1. 06. 01 : <vrf-name>パラメーターを追加

対応	ネイバー関係が切断された可能性があります。当該ネイバーの設定、およびネットワーク内の配線、接続などを確認してください。
----	---

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-5-VNBRLOADINGTOFULL: OSPF nbr <nbr-id> on virtual link changed state from Loading to Full
レベル	Notification (5)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF 仮想ネイバー状態が、Loading から Full に変わったことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <nbr-id> : 隣接ルーターID を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-5-VNBRFULLTODOWN: OSPF nbr <nbr-id> on virtual link changed state from Full to Down
レベル	Notification (5)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF 仮想ネイバー状態が、Full から Down に変わったことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <nbr-id> : 隣接ルーターID を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	当該ネイバーとの仮想リンクが切断された可能性があります。各 OSPF 機能が動作している装置の仮想リンクの設定、およびネットワーク内の配線、接続などを確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-4-RIDCHANGE: OSPF router ID changed to <router-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF ルーターID が変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> :

1.27 OSPFv2

	VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <router-id> : OSPF ルーターID を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] OSPF-6-STATECHANGE: OSPF state changed to Enabled [VRF <vrf-name>] OSPF-6-STATECHANGE: OSPF state changed to Disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	本ログはデフォルト状態では出力されません。"debug ip ospf log"コマンドで OSPF システムログのデバッグをオンにした場合に出力されます。 OSPF 状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

## 1.28 OSPFv3

ログ表示	OSPFv3 NFSM[<intf-name>:<router-id>]: Status change <state> -> <state>(event <event>)
レベル	Informational (6)、または Debugging (7)
イベントの説明	OSPFv3 ネイバーの状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <router-id> : OSPF ルーターID を示します。 <state> : OSPF ネイバーの状態を示します。 <event> : OSPF イベントを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	イベント<event>内容による対応を以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• KillNbr : 本装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。</li> <li>• InactivityTimer : 本装置、および対向装置のインターフェースのリンク状態、本装置と対向装置の OSPF、およびインターフェースのリンクに関する設定を確認してください。</li> <li>• 1-WayReceived : 対向装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。</li> <li>• BadLSReq、SeqNumberMismatch : 対向装置の状態を確認してください。</li> <li>• 上記以外の場合は対応不要です。</li> </ul>

ログ表示	OSPFv3 IFSM[<intf-name>]: Status change <state> -> <state>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	OSPFv3 インターフェースの状態が変更されたことを示します。
パラメーター	<intf-name> : OSPF インターフェースの名前を示します。 <state> : OSPF インターフェースの状態を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	新しい<state>が Down の場合は、本装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。それ以外の場合は、対応不要です。

ログ表示	OSPFv3 SPF[<area-id>]: Calculation finished
レベル	Informational (6)
イベントの説明	OSPFv3 の SPF 計算が終了したことを示します。
パラメーター	<area-id> :



## 1.28 OSPFv3

	OSPF エリア ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.29 PIM-SM

ログ表示	PIM vif starts interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IP インターフェースでPIM-SMが開始されたことを示します。
パラメーター	<ipif-name> : IP インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Found PIM neighbor IP <ip-address> on interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IP インターフェースでPIM-SMがネイバーを発見したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : ネイバーの IP アドレスを示します。 <ipif-name> : IP インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Delete PIM neighbor IP <ip-address> on interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IP インターフェースでPIM-SMがネイバーを削除したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : ネイバーの IP アドレスを示します。 <ipif-name> : IP インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	本装置、および対向装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。 本装置、対向装置のPIM-SM、およびインターフェースのリンクに関する設定を確認してください。

## 1.30 IPv6 PIM-SM

ログ表示	PIMv6 vif6 starts interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IPv6 インターフェースで PIM-SM が開始されたことを示します。
パラメーター	<ipif-name> : IPv6 インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Found PIMv6 neighbor IP <IPV6-ADDRESS> on interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IPv6 インターフェースで PIM-SM がネイバーを発見したことを示します。
パラメーター	<IPV6-ADDRESS> : ネイバーの IPv6 アドレスを示します。 <ipif-name> : IPv6 インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Delete PIMv6 neighbor IP <IPV6-ADDRESS> on interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	IPv6 インターフェースで PIM-SM がネイバーを削除したことを示します。
パラメーター	<IPV6-ADDRESS> : ネイバーの IPv6 アドレスを示します。 <ipif-name> : IPv6 インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	本装置、および対向装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。 本装置、対向装置の PIM-SM、およびインターフェースのリンクに関する設定を確認してください。

## 1.31 PD モニタリング

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] start
レベル	Informational (6)
イベントの説明	PD 監視を開始したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	不要

ログ表示	<port> pd-monitoring [ACL-mode] [notify-only] detected pd-down, rule: <acl-rule>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ACL モードで PD のダウンを検出したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <acl-rule> : PD のダウンを検出したアクセスリストのルール設定を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	ログが繰り返し出力される場合、PD が異常状態の可能性がります。必要に応じて PD の状態を確認してください。

ログ表示	<port> pd-monitoring [ICMP-mode] [notify-only] detected pd-down, IP: <ip-address>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ICMP モード PD のダウンを検出したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <ip-address> : ダウンを検出した PD の IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	ログが繰り返し出力される場合、PD が異常状態の可能性がります。必要に応じて PD の状態を確認してください。

## 1.32 Port

ログ表示	Port<port> link up, <nway>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートがリンクアップしたことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。(例 : 1/0/1) <nway> : リンク速度とデュプレックスモードを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Port<port> link down
レベル	Error (3)
イベントの説明	ポートがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。(例 : 1/0/1)
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Management port link up, <nway> Unit <unit-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	マネージメントポートがリンクアップしたことを示します。 スタック構成の場合、対応する標準 linkUp トラップは、マスター装置のマネージメントポートの場合のみ出力されます。
パラメーター	<nway> : リンク速度とデュプレックスモードを示します。 <unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	不要

ログ表示	Management port link down, Unit <unit-id>
レベル	Error (3)
イベントの説明	マネージメントポートがリンクダウンしたことを示します。 スタック構成の場合、対応する標準 linkDown トラップは、マスター装置のマネージメントポートの場合のみ出力されます。
パラメーター	<unit-id> :

## 1.32 Port

	ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Port <port-num> <tr-type> has been inserted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SFP/SFP+ポートに SFP/SFP+トランシーバーが挿入されたこと、または QSFP+ポートに QSFP+トランシーバーが挿入されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。 <tr-type> : トランシーバータイプを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Port <port-num> transceiver has been removed
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SFP/SFP+ポートから SFP/SFP+トランシーバーが取り外されたこと、または QSFP+ポートから QSFP+トランシーバーが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Port <port-num> [Lane <lane>] <tr-type> TX fault was asserted
レベル	Error (3)
イベントの説明	SFP/SFP+/QSFP+トランシーバーの送信障害が発生したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。 <lane> : QSFP+トランシーバーの場合に QSFP+のチャンネルを示します。 <tr-type> : トランシーバータイプを示します。

## 1.32 Port

対象バージョン	1.01.01 1.08.01 : tr-type パラメーターを追加
対応	ZR-SFP+トランシーバーの挿入時に本ログが発生することがありますが、異常ではありません。これ以外の要因でログが発生する場合は、SFP/SFP+/QSFP+トランシーバーを交換してください。その後も引き続き本ログが発生する場合は、装置側に問題があることも考えられます。その際は、サポート対応窓口までお問合せください。

## 1.33 Power

ログ表示	Unit <unit-id>, <power-descr> failed
レベル	Critical (2)
イベントの説明	電源ユニットが出力を停止したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <power-descr> : 電源ユニット ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	"show unit" コマンド、および "show environment" コマンドで状況を確認後、 "show tech-support" コマンドで各種情報を取得し、必要があれば電源ユニット の交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, <power-descr> back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	電源ユニットの出力が正常に復旧したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <power-descr> : 電源ユニット ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Attached PSU to slot <slot-id>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	装置に電源ユニットが接続されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <slot-id> : 電源ユニットのスロット ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Detached PSU from slot <slot-id>
レベル	Critical (2)
イベントの説明	装置から電源ユニットが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> :



### 1.33 Power

	ボックス ID を示します。 <slot-id> : 電源ユニットのスロット ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.34 RIP

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RIP: IPv4 Route <network-addr>/<prefix-len> delete
レベル	Informational (6)
イベントの説明	RIP で学習した経路が削除されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <network-addr> : ネットワークアドレスを示します。 <prefix-len> : プレフィックスの長さを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	本装置、および対向装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。 本装置、対向装置の RIP、およびインターフェースのリンクに関する設定を確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RECV[<intf-name>]: Drop RIPv2 from <ip-address> (No auth in packet)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	RIPv2 の認証が有効化されたインターフェースで、RIPv2 パケットに認証フィールドが存在しないことが原因で RIPv2 パケットが破棄されたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : インターフェースの名前を示します。 <ip-address> : 受信した RIP パケットの送信元 IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	本装置、および対向装置の RIP の認証に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより RIP パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

ログ表示	[VRF <vrf-name>] RECV[<intf-name>]: Drop RIPv2 from <ip-address> (Simple auth failed)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	RIPv2 認証のパスワードに誤りがあるため、RIPv2 パケットが破棄されたことを

## 1.34 RIP

	示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <intf-name> : インターフェースの名前を示します。 <ip-address> : 受信した RIP パケットの送信元 IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	本装置、および対向装置の RIP の認証に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより RIP パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

## 1.35 RIPng

ログ表示	RIPNG-6-INTFSTATECHANGE: RIPng protocol on interface <intf-name> changed state to enabled RIPNG-6-INTFSTATECHANGE: RIPng protocol on interface <intf-name> changed state to disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	対象 VLAN インターフェースにおいて、ipv6 rip enable コマンドで RIPng が有効、または無効に設定されたことを示します。
パラメーター	<intf-name> : インターフェース名を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	RIPng: IPv6 Route <network-addr>/<prefix-len> delete
レベル	Informational (6)
イベントの説明	RIPng で学習した IPv6 経路が削除されたことを示します。
パラメーター	<network-addr> : ネットワークアドレスを示します。 <prefix-len> : プレフィックスの長さを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	本装置、および対向装置のインターフェースのリンク状態を確認してください。 本装置、対向装置の RIPng、およびインターフェースのリンクに関する設定を確認してください。

## 1.36 SNMP

ログ表示	SNMP request received from <ip-address> with invalid community string
レベル	Warning (4)
イベントの説明	SNMP 要求を、無効なコミュニティー文字列で受信したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>&lt;ip-address&gt;が適正である場合、ネットワーク管理装置の設定を確認し、利用している SNMP のバージョンに応じて、各設定（コミュニティー名、認証パスワード、グループのアクセス権）が正しいか確認してください。</p> <p>&lt;ip-address&gt;が不正である場合、不正なアクセスの可能性があります。ネットワーク管理装置の IP アドレスを指定する、または利用している SNMP のバージョンに応じて、各設定（コミュニティー名、認証パスワード、グループのアクセス権）を変更することで、装置に対する不正なアクセスを防ぐことができます。</p>

## 1.37 SSH

ログ表示	SSH server is enabled SSH server is disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SSH サーバーが有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Login failed through SSH (Username: <user-name>, IP: <ip-address   ipv6-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	SSH によるログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;user-name&gt; : ログインに失敗したユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : ユーザーがログインに使用したホストの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipv6-address&gt; : ユーザーがログインに使用したホストの IPv6 アドレスを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name> パラメーターを追加
対応	<p>ユーザー名、ログイン場所を確認し、不正アクセスがないことを確認してください。</p> <p>設定に異常があった場合は、設定を変更してください。</p> <p>設定が正しくない端末よりアクセスした場合は、当該端末の設定を変更してください。</p> <p>不正アクセスがあった場合は、以下の対策を行うことで不正アクセスを防ぐことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークの設定を変更する。</li> <li>SSH 機能の設定を変更する。</li> </ul>

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Successful login through SSH (Username: <user-name>, IP: <ip-address   ipv6-address>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SSH によるログインに成功したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> :

	<p>VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;user-name&gt; : SSH によるログインに成功したユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : ユーザーがログインに使用したホストの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipv6-address&gt; : ユーザーがログインに使用したホストの IPv6 アドレスを示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Logout through SSH (Username: <user-name>, IP: <ip-address   ipv6-address>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SSH によりログインしたユーザーがログアウトしたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;vrf-name&gt; : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF &lt;vrf-name&gt;] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。</p> <p>&lt;user-name&gt; : SSH によりログインしたユーザーを示します。</p> <p>&lt;ip-address&gt; : ユーザーがログインに使用したホストの IP アドレスを示します。</p> <p>&lt;ipv6-address&gt; : ユーザーがログインに使用したホストの IPv6 アドレスを示します。</p>
対象バージョン	<p>1.01.01</p> <p>1.06.01 : &lt;vrf-name&gt;パラメーターを追加</p>
対応	不要

## 1.38 スタック

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Hot insertion
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ホットインサージョンを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	意図的に行っていない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Hot removal
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ホットリムーバルを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	意図的に行っていない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Stacking topology is <stack-tp-type>. Master(Unit <unit-id>, MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックトポロジーの変更を示します。
パラメーター	<stack-tp-type> : スタックトポロジータイプを示します。以下のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Ring</li> <li>• Chain</li> </ul> <unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01



## 1.38 スタック

対応	意図的にトポロジーを変更していない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>
----	--

ログ表示	Backup master changed to master. Master (Unit <unit-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	バックアップマスターがマスターに変わったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	意図的な状態遷移でない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• マスターの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Slave changed to master. Master (Unit <unit-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スレーブがマスターに変わったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	意図的な状態遷移でない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• マスターの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Hot insert failed, box ID conflict: Unit <unit-id>, conflict (MAC: <mac-address> and MAC: <mac-address>)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ボックス ID の不一致を示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : 重複している装置の MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	ボックス ID を自動割り当てに切り替えるか、ボックス ID が重複しないように設定してください。

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> link up, <nway>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックポートがリンクアップしたことを示します。

1.38 スタック

パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : MAC アドレスを示します。</p> <p>&lt;port-num&gt; : ポート ID を示します。</p> <p>&lt;nway&gt; : リンクの動作速度とデュプレックスを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>意図的なリンクアップでない場合は、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> link down
レベル	Error (3)
イベントの説明	スタックポートがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : MAC アドレスを示します。</p> <p>&lt;port-num&gt; : ポート ID を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	<p>意図的なリンクダウンでない場合は、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> <tr-type> has been inserted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スタックポートに設定した SFP/SFP+ポートに SFP+トランシーバーが挿入されたことを示します。または、スタックポートに設定した QSFP+ポートに QSFP+トランシーバーが挿入されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : MAC アドレスを示します。</p> <p>&lt;port-num&gt; : ポート ID を示します。</p> <p>&lt;tr-type&gt; : トランシーバータイプを示します。</p>

1.38 スタック

対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> transceiver has been removed
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スタックポートに設定した SFP/SFP+ポートから SFP+トランシーバーが取り外されたことを示します。または、スタックポートに設定した QSFP+ポートから QSFP+トランシーバーが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Hello timeout occurs: Unit <unit-id> Stackport <port-num>
レベル	Error (3)
イベントの説明	ハローフレームの受信タイムアウト時間が経過したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	スタックメンバーの状態を確認してください。

ログ表示	Unit <unit-id> fails to send a stacking message. (Type: <msg-type>[, Sub type: <sub-type>])
レベル	Debugging (7)
イベントの説明	スタックメッセージの送信に失敗したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <msg-type> : スタックメッセージタイプを示します。 <sub-type> : スタックメッセージのサブタイプを示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	このログは、メーカーでの解析を補助するための Debugging レベルのメッセー

## 1.38 スタック

	<p>ジです。装置起動時、意図的なスタック状態の変更時、または運用中に散発的に出力される場合は対応不要です。</p> <p>スタック構成の装置が CPU 高負荷状態になった場合にも本ログが出力されることがありますが、その際には CPU 高負荷状態の原因を確認してください。</p>
--	--

ログ表示	Stacking starts to configure new units. Master (Unit <unit-id>, MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックメンバー間での構成情報の同期処理が開始されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : マスターのボックス ID を示します。 <mac-address> : マスターの MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	Stacking detects new units. (MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	新しいスタックメンバーを検知したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : 新しく追加されたスタックメンバーの MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	Stacking role changed to <role>. (MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックの役割が変更したことを示します。
パラメーター	<role> : 変更後の役割を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	Stacking configure stage timeout occurred. Restart election.
レベル	Error (3)
イベントの説明	スタックの構成情報の同期処理でタイムアウトが発生し、スタックの役割選択状態に戻ったことを示します。
パラメーター	なし

1.38 スタック

対象バージョン	1.04.01
対応	意図的なリンクダウンでない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Stacking detects abnormal link status and try to recover: Unit <unit-id> Stackport <port-num>
レベル	Error (3)
イベントの説明	異常なリンク状態を検知したため、復旧しようとしていることを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Unit <unit-id>: Stacking health status goes Abnormal
レベル	Error (3)
イベントの説明	スタックメンバーの状態が正常から異常になったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.05.01
対応	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタックメンバーの状態</li> <li>• スタックポートのリンク状態</li> </ul>

ログ表示	Unit <unit-id>: Stacking health status goes Normal
レベル	Notification (5)
イベントの説明	スタックメンバーの状態が異常から正常になったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.05.01
対応	不要

ログ表示	Recovering from loss of stacking message: Unit <unit-id> Stackport <port-num> Trials <number>
レベル	Error (3)

## 1.38 スタック

イベントの説明	ハローフレームなどの受信タイムアウトに伴う復旧動作が行われたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;port-num&gt; : ポート ID を示します。</p> <p>&lt;number&gt; : 試行回数を示します。 (例 : 1st, 2nd)</p>
対象バージョン	1.06.01
対応	<p>スタックポートのトランシーバーモジュールおよびケーブルの接続状態を確認してください。接続に問題がないにも関わらず本ログが多発する場合は、トランシーバーモジュールおよびケーブルを交換してください。</p> <p>トランシーバーモジュールおよびケーブル交換後も引き続き本ログが発生する場合は、装置側に問題があることも考えられます。その際は、装置の交換をご検討ください。</p>

# 1.39 Storm Control

ログ表示	<Broadcast   Multicast   Unicast> storm is occurring on <interface-id> [(port-channel <group-id>)]
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースでストームが検知されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;Broadcast&gt; : ブロードキャストパケット (DA = FF:FF:FF:FF:FF:FF) によって、ストームが発生しています。</p> <p>&lt;Multicast&gt; : 不明な L2 マルチキャスト、既知の L2 マルチキャスト、不明な IP マルチキャスト、および既知の IP マルチキャストを含む、マルチキャストパケットによって、ストームが発生しています。</p> <p>&lt;Unicast&gt; : 既知および不明なユニキャストパケットを含む、ユニキャストパケットによって、ストームが発生しています。</p> <p>&lt;interface-id&gt; : ストームが発生しているインターフェース ID を示します。</p> <p>&lt;group-id&gt; : ストームが発生しているメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01 1.03.03 : ポートチャネルでのストームコントロールをサポート
対応	検知したインターフェースでネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。

ログ表示	<Broadcast   Multicast   Unicast> storm is cleared on <interface-id> [(port-channel <group-id>)]
レベル	Informational (6)
イベントの説明	インターフェースでストームが解消されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;Broadcast&gt; : ブロードキャストストームが解消されています。</p> <p>&lt;Multicast&gt; : マルチキャストストームが解消されています。</p> <p>&lt;Unicast&gt; : ユニキャストストーム (既知および不明なユニキャストパケットを含む) が解消されています。</p> <p>&lt;interface-id&gt; : ストームが解消されたインターフェース ID を示します。</p> <p>&lt;group-id&gt; : ストームが解消されたメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID</p>

### 1.39 Storm Control

	を示します。
対象バージョン	1.01.01 1.03.03 : ポートチャネルでのストームコントロールをサポート
対応	不要

ログ表示	<interface-id> [(port-channel <group-id>)] is currently shut down due to the <Broadcast   Multicast   Unicast> storm
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースがストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;interface-id&gt; : ストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたインターフェース ID を示します。</p> <p>&lt;group-id&gt; : ストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID を示します。</p> <p>&lt;Broadcast&gt; : ブロードキャストストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。</p> <p>&lt;Multicast&gt; : マルチキャストストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。</p> <p>&lt;Unicast&gt; : ユニキャストストーム (既知および不明なユニキャストパケットを含む) によってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01 1.03.03 : ポートチャネルでのストームコントロールをサポート
対応	<p>検知したインターフェースでネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。</p> <p>自動復旧設定 ("errdisable recovery cause storm-control" コマンド) の場合は、シャットダウン (err-disabled 状態に変更) されてから設定した時間が経過すると、インターフェースの閉塞は自動的に復旧されます。</p> <p>シャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたインターフェースを手動で復旧させる場合は、"shutdown" コマンドで一度閉塞してから、"no shutdown" コマンドでインターフェースの閉塞を解除してください。</p>

ログ表示	<interface-id> [(port-channel <group-id>)] recovers from storm err-disabled state automatically
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ストームコントロールによりシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたインターフェースが、自動的に復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> :



## 1.39 Storm Control

	復旧したインターフェース ID を示します。 <group-id> : 復旧したメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.08.01
対応	検知したインターフェースでネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> [(port-channel <group-id>)] recovers from storm err-disabled state manually
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ストームコントロールによりシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたインターフェースが、手動で復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。 <group-id> : 復旧したメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.08.01
対応	不要

## 1.40 スパニングツリープロトコル

ログ表示	Spanning Tree Protocol is enabled Spanning Tree Protocol is disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スパニングツリープロトコルが有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード</p> <p>Topology changed (Instance:&lt;instance-id&gt;, &lt;interface-id&gt;, MAC:&lt;mac-address&gt;)</p> <p>■ RPVST+モード</p> <p>Topology changed (VLAN:&lt;vlan-id&gt;, &lt;interface-id&gt;, MAC:&lt;mac-address&gt;)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スパニングツリー(xSTP)のトポロジーが変化したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;instance-id&gt; : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p>&lt;interface-id&gt; : トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : ブリッジの MAC アドレスを示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	回線状態を確認してください。

## 1.40 スパニングツリープロトコル

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ STP/RSTP モード New Root bridge selected (MAC:&lt;mac-address&gt;, Priority:&lt;priority&gt;)</li> <li>■ MSTP モード CIST New Root bridge selected (MAC:&lt;mac-address&gt;, Priority:&lt;priority&gt;) CIST Regional New Root bridge selected (MAC:&lt;mac-address&gt;, Priority:&lt;priority&gt;) MSTI Regional New Root bridge selected (Instance:&lt;instance-id&gt;, MAC:&lt;mac-address&gt;, Priority:&lt;priority&gt;)</li> <li>■ RPVST+モード New Root bridge selected (VLAN:&lt;vlan-id&gt;, MAC:&lt;mac-address&gt;, Priority:&lt;priority&gt;)</li> </ul>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	新たにルートブリッジが選出されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;instance-id&gt; : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p>&lt;mac-address&gt; : ブリッジの MAC アドレスを示します。</p> <p>&lt;priority&gt; : ブリッジ優先度の値は、4096 で割り切れる必要があります。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ STP/RSTP/MSTP モード New root port selected (Instance:&lt;instance-id&gt;, &lt;interface-id&gt;)</li> <li>■ RPVST+モード New root port selected (VLAN:&lt;vlan-id&gt;, &lt;interface-id&gt;)</li> </ul>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	新たにルートポートが選出されたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;instance-id&gt; : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p>&lt;interface-id&gt; : トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.40 スパニングツリープロトコル

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード</p> <p>Spanning Tree port status change (Instance:&lt;instance-id&gt;, &lt;interface-id&gt;) &lt;old-status&gt;-&gt;&lt;new-status&gt;</p> <p>■ RPVST+モード</p> <p>Spanning Tree port status change (VLAN:&lt;vlan-id&gt;, &lt;interface-id&gt;) &lt;old-status&gt;-&gt;&lt;new-status&gt;</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スパニングツリー(xSTP)のポート状態に変更が発生したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;instance-id&gt; :</p> <p>MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; :</p> <p>スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p>&lt;interface-id&gt; :</p> <p>トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p> <p>&lt;old-status&gt; : 変更前のポート状態を示します。</p> <p>&lt;new-status&gt; : 変更後のポート状態を示します。</p> <p>スパニングツリープロトコルのポート状態を示します。値は Disable、Discarding、Learning、Forwarding です。</p>
対象バージョン	1.01.01
対応	回線状態を確認してください。

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード</p> <p>Spanning Tree port role change (Instance:&lt;instance-id&gt;, &lt;interface-id&gt;) &lt;old-role&gt;-&gt;&lt;new-role&gt;</p> <p>■ RPVST+モード</p> <p>Spanning Tree port role change (VLAN:&lt;vlan-id&gt;, &lt;interface-id&gt;) &lt;old-role&gt;-&gt;&lt;new-role&gt;</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スパニングツリー(xSTP)のポート役割に変更が発生したことを示します。
パラメーター	<p>&lt;instance-id&gt; :</p> <p>MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p>&lt;vlan-id&gt; :</p> <p>スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p>&lt;interface-id&gt; :</p> <p>トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p> <p>&lt;old-role&gt; : 変更前のポート役割を示します。</p> <p>&lt;new-role&gt; : 変更後のポート役割を示します。</p> <p>スパニングツリープロトコルのポート役割を示します。値は Disable、Alternate、Backup、Root、Designated、Master です。</p>
対象バージョン	1.01.01

## 1.40 スパニングツリープロトコル

対応	回線状態を確認してください。
----	----------------

  

ログ表示	Spanning Tree version change (new version:<new-version>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スパニングツリープロトコルのモードが変更されたことを示します。
パラメーター	<new-version> : 実行中のスパニングツリープロトコルを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

  

ログ表示	<b>■ MSTP モード</b> Spanning Tree MST configuration ID name and revision level change (name:<name> revision level: <revision-level>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP コンフィグで、リージョン名とリビジョンレベルが変更されたことを示します。
パラメーター	<name> : 特定の MSTP リージョンに付与する名前を示します。 <revision-level> : 指定した名前が同じでも、リビジョンレベルが異なる装置は、別の MSTP リージョンのメンバーと見なされます。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

  

ログ表示	<b>■ MSTP モード</b> Spanning Tree instance created (Instance:<instance-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスが追加されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : 追加された MSTP インスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

  

ログ表示	<b>■ MSTP モード</b> Spanning Tree instance deleted (Instance:<instance-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスが削除されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : 削除された MSTP インスタンス ID を示します。

## 1.40 スパニングツリープロトコル

対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	<b>■ MSTP モード</b> Spanning Tree MST configuration ID VLAN mapping table change (Instance:<instance-id> add vlan:<vlan-ids>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスに VLAN が追加されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : MSTP インスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。 <vlan-ids> : 追加する VLAN を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	<b>■ MSTP モード</b> Spanning Tree MST configuration ID VLAN mapping table change (Instance:<instance-id> delete vlan:<vlan-ids>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスに関連付けられた VLAN が削除されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : MSTP インスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。 <vlan-ids> : 削除する VLAN を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	<b>■ RPVST+モード</b> Spanning Tree VLAN created (VLAN:<vlan-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	RPVST+を使用する VLAN が追加されたことを示します。
パラメーター	<vlan-id> : 追加された VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.40 スパニングツリープロトコル

ログ表示	<b>■ RPVST+モード</b> Spanning Tree VLAN deleted (VLAN:<vlan-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	RPVST+を使用する VLAN が削除されたことを示します。
パラメーター	<vlan-id> : 削除された VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	<b>■ STP/RSTP/MSTP モード</b> Spanning Tree port role change (Instance:<instance-id>, <interface-id>) to alternate port due to the guard root <b>■ RPVST+モード</b> Spanning Tree port role change (VLAN:<vlan-id>, <interface-id>) to alternate port due to the guard root
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ガードルートによりポート役割が alternate に変更されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。 <vlan-id> : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。 <interface-id> : イベントを検知するポート番号を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

ログ表示	Invalid BPDU received on <interface-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	無効な BPDU を受信したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : イベントを検知したポート番号を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	本装置、および隣接装置のスパニングツリーに関する設定を確認してください。 パケットキャプチャにより BPDU パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

## 1.41 システム

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System started up
レベル	Critical (2)
イベントの説明	装置が起動、または再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System warm start (CONSOLE)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	コンソールを介したコマンド操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System warm start (TELNET)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	Telnet を介したコマンド操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System warm start (SSH)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	SSH を介したコマンド操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System warm start (SNMP)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	probeResetControl オブジェクトを warmBoot (2) に設定する SNMP 操作により



## 1.41 システム

	装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System cold start
レベル	Critical (2)
イベントの説明	電源供給の開始により装置が起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	不要

ログ表示	System cold start (SNMP)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	probeResetControl オブジェクトを coldBoot (3) に設定する SNMP 操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System re-start reason: CPU Exception
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	CPU 例外を検知したため、再起動を行ったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• show environment</li> <li>• show unit</li> <li>• show logging all</li> <li>• debug show cpu utilization</li> <li>• debug show error-log</li> <li>• show tech-support</li> </ul>

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System re-start reason: System Fatal Error
レベル	Emergency (0)

## 1.41 システム

イベントの説明	ソフトウェア動作の異常を検知したため、再起動を行ったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.03.01
対応	以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• show environment</li> <li>• show unit</li> <li>• show logging all</li> <li>• debug show cpu utilization</li> <li>• debug show error-log</li> <li>• show tech-support</li> </ul>

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System re-start reason: Watch Dog
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ウォッチドッグタイマー機能により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.04.01
対応	以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• show environment</li> <li>• show unit</li> <li>• show logging all</li> <li>• debug show cpu utilization</li> <li>• debug show error-log</li> <li>• debug show wd-error-log</li> <li>• show tech-support</li> </ul>

ログ表示	[Unit <unit-id>, ]System re-start reason: CPU Protect
レベル	Critical (2)
イベントの説明	AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 以降では、システムメモリー (SYS_MEM、SYS_HUGE、SEC_MEM、その他監視対象のメモリー) を割り当てることができない状態が1分間続いたことを検知したことにより、装置が再起動したことを示します。 AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 より前のバージョンでは、“cpu-protect system-memory limit-check fault-action reboot”コマンドの機能により、装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.05.01
対応	以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• show environment</li> <li>• show unit</li> </ul>

## 1.41 システム

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• show logging all</li> <li>• debug show cpu utilization</li> <li>• debug show error-log</li> <li>• show tech-support</li> </ul>
--	---

ログ表示	System status goes normal.
レベル	Notification (5)
イベントの説明	システム状態が正常に戻ったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.04.01
対応	不要

ログ表示	System status goes abnormal.
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	システム状態に問題が発生したことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.04.01
対応	検出された障害コードに応じて対応ください。

ログ表示	Unit:<unit-id> System Status Code is changed (<failure-code>-<failure-code>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	装置によって検出された障害コードが変更されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <failure-code> : 装置によって検出された障害コードを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべての bit=0 (0x00000) : 正常状態</li> <li>• bit[8]=1 (0x00100) : 電源の障害</li> <li>• bit[10]=1 (0x00400) : ファンの障害</li> <li>• bit[11]=1 (0x00800) : 温度異常</li> <li>• bit[14]=1 (0x04000) : SW-LSI のメモリーエラー</li> <li>• bit[15]=1 (0x08000) : SW-LSI の復旧不能なメモリーエラー</li> <li>• bit[16]=1 (0x10000) : SW-LSI のメモリーエラー (ハードエラー)</li> <li>• bit[17]=1 (0x20000) : SW-LSI の復旧不能なメモリーエラー (ハードエラー)</li> </ul>
対象バージョン	1.04.01
対応	電源、ファン、または温度に異常が発生した場合、電源、装置ファンの故障が考えられます。電源の供給状態や装着状況、ファンの回転状況を確認後、異常があればサポート対応窓口にお問い合わせください。

## 1.41 システム

	記載されていない障害コードが出力された場合、ハードウェア障害の可能性があるため、サポート対応窓口にお問い合わせください。
ログ表示	Task Stack Over flow: Unit <unit-id>.Task: <task-name>
レベル	Alert (1)
イベントの説明	タスクのスタックオーバーフローが発生したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <task-name> : オーバーフローしたタスク名を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• show environment</li> <li>• show unit</li> <li>• show logging all</li> <li>• debug show cpu utilization</li> <li>• debug show error-log</li> <li>• show tech-support</li> </ul>

## 1.42 Telnet

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Successful login through Telnet (Username: <user-name>, IP: <ip-address>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	Telnet によるログインに成功したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <user-name> : Telnet サーバーへのログインに使用するユーザーを示します。 <ip-address> : Telnet クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Login failed through Telnet (Username: <user-name>, IP: <ip-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	Telnet によるログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <user-name> : Telnet サーバーへのログインに使用するユーザーを示します。 <ip-address> : Telnet クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	ユーザー名、ログイン場所を確認し、不正アクセスがないことを確認してください。 設定に異常があった場合は、設定を変更してください。 設定が正しくない端末よりアクセスした場合は、当該端末の設定を変更してください。 不正アクセスがあった場合は、以下の対策を行うことで不正アクセスを防ぐことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークの設定を変更する。</li> <li>• "access-class" コマンドを利用し、特定ホスト以外のアクセスを禁止する。</li> </ul>

## 1.42 Telnet

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Logout through Telnet (Username: <user-name>, IP: <ip-address>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Telnet によりログアウトしたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <user-name> : Telnet サーバーへのログインに使用するユーザーを示します。 <ip-address> : Telnet クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

ログ表示	[VRF <vrf-name>] Telnet session timed out (Username: <user-name>, IP: <ip-address>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Telnet セッションがタイムアウトしたことを示します。
パラメーター	<vrf-name> : VRF インスタンス名を示します。VRF インスタンス名は [VRF <vrf-name>] と表示されます。VRF 未使用時は表示されません。 <user-name> : Telnet サーバーへのログインに使用するユーザーを示します。 <ip-address> : Telnet クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.01.01 1.06.01 : <vrf-name>パラメーターを追加
対応	不要

## 1.43 Temperature

ログ表示	Unit <unit-id>, Sensor: <sensor-id> detects abnormal temperature <degree>C
レベル	Critical (2)
イベントの説明	外気温度が、装置の動作周囲温度の上限を著しく超えたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <sensor-id> : センサーID を示します。 <degree> : 現在の温度を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	装置周辺の環境などを確認して、外気温度を動作周囲温度（0～45℃）の範囲内に調整してください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Sensor: <sensor-id> temperature back to normal
レベル	Critical (2)
イベントの説明	温度センサーが正常温度への復旧を検知したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <sensor-id> : センサーID を示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	不要

## 1.44 単方向リンク検出 (ULD)

ログ表示	ULD <interface-id> is detected as unidirectional link
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースで単方向リンクが検出されたことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 単方向リンクが検知されているインターフェースを示します。
対象バージョン	1.01.01
対応	対向装置のポート設定、ステータス、および伝送路を確認してください。



## 1. 45 VRRPv2

ログ表示	VRRP: vrid <vr-id> state change to master on vlan <vlan-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	仮想ルーターの状態が、マスターに変わったことを示します。
パラメーター	<vr-id> : 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	VRRP: vrid <vr-id> state change to backup on vlan <vlan-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	仮想ルーターの状態が、バックアップに変わったことを示します。
パラメーター	<vr-id> : 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	VRRP RECV[Hello]: Dropped - bad checksum (<vr-id>/vlan <vlan-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	受信したアドバタイズメントメッセージのチェックサムエラーを示します。
パラメーター	<vr-id> : 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	本装置、および対向装置の VRRP 機能に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより VRRP Hello パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

## 1. 46 VRRPv3

ログ表示	VRRPv3 IPv4: vrid <vr-id> state change to master on vlan <vlan-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	仮想 IPv4 VRRPv3 ルーターの状態が、マスターに変わったことを示します。
パラメーター	<vr-id> : VRRPv3 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	VRRPv3 IPv4: vrid <vr-id> state change to backup on vlan <vlan-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	仮想 IPv4 VRRPv3 ルーターの状態が、バックアップに変わったことを示します。
パラメーター	<vr-id> : VRRPv3 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	VRRPv3 IPv4 RECV[Hello]: Dropped - bad checksum (<vr-id>/vlan <vlan-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	受信した IPv4 VRRPv3 アドバタイズメントメッセージのチェックサムエラーを示します。
パラメーター	<vr-id> : VRRPv3 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	本装置、および対向装置の VRRPv3 機能に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより IPv4 VRRPv3 Hello パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

ログ表示	VRRPv3 IPv6: vrid <vr-id> state change to master on vlan <vlan-id>
レベル	Warning (4)

イベントの説明	仮想 IPv6 VRRPv3 ルーターの状態が、マスターに変わったことを示します。
パラメーター	<vr-id> : VRRPv3 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	VRRPv3 IPv6: vrid <vr-id> state change to backup on vlan <vlan-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	仮想 IPv6 VRRPv3 ルーターの状態が、バックアップに変わったことを示します。
パラメーター	<vr-id> : VRRPv3 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	不要

ログ表示	VRRPv3 IPv6 RECV[Hello]: Dropped - bad checksum (<vr-id>/vlan <vlan-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	受信した IPv6 VRRPv3 アドバタイズメントメッセージのチェックサムエラーを示します。
パラメーター	<vr-id> : VRRPv3 仮想ルーターID を示します。 <vlan-id> : 仮想ルーターが基盤にする VLAN を示します。
対象バージョン	1. 01. 01
対応	本装置、および対向装置の VRRPv3 機能に関する設定を確認してください。 パケットキャプチャーにより IPv6 VRRPv3 Hello パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

## 1.47 システムメモリー使用率監視

ログ表示	<p>AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 以降 Unit &lt;unit-id&gt; Memory pool &lt;name&gt; utilization exceeded &lt;percentage&gt;</p> <p>AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 より前のバージョン Unit &lt;unit-id&gt; System memory &lt;code&gt; utilization exceeded &lt;percentage&gt;</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	システムメモリー使用率が、“cpu-protect system-memory limit-check threshold”コマンドで設定したしきい値を超えたことを示します。
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;name&gt; : 対象のシステムメモリー名を示します。</p> <p>&lt;code&gt; : 装置によって検出された障害コードを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• bit0 (0x001) : SYS_MEM</li> <li>• bit1 (0x002) : SYS_HUGE</li> <li>• bit2 (0x004) : SEC_MEM</li> </ul> <p>&lt;percentage&gt; : システムメモリーの使用率のしきい値(%)を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.05.01</p> <p>1.08.01 : ログの構文、および&lt;code&gt;パラメーターを&lt;name&gt;パラメーターに変更</p>
対応	不要

ログ表示	<p>AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 以降 Unit &lt;unit-id&gt; System restart due to memory allocation failure &lt;name&gt;</p> <p>AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 より前のバージョン Unit &lt;unit-id&gt; System restart due to memory allocation failure &lt;code&gt;</p>
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	<p>AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 以降では、システムメモリー (SYS_MEM、SYS_HUGE、SEC_MEM、その他監視対象のメモリー) を割り当てることができない状態が1分間続いた場合に、装置が再起動したことを示します。</p> <p>AEOS-NP5000 Ver. 1.08.01 より前のバージョンでは、“cpu-protect system-memory limit-check fault-action reboot”コマンドの機能により、装置が再起動したことを示します。</p>
パラメーター	<p>&lt;unit-id&gt; : ボックス ID を示します。</p> <p>&lt;name&gt; : 対象のシステムメモリー名を示します。</p>

## 1.47 システムメモリー使用率監視

	<p>&lt;code&gt; :</p> <p>装置によって検出された障害コードを示します。以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• bit0 (0x001) : SYS_MEM</li> <li>• bit1 (0x002) : SYS_HUGE</li> <li>• bit2 (0x004) : SEC_MEM</li> </ul>
対象バージョン	<p>1.05.01</p> <p>1.08.01 : &lt;code&gt;パラメーターを&lt;name&gt;パラメーターに変更、"cpu-protect system-memory limit-check fault-action reboot"コマンド削除に伴う修正</p>
対応	<p>以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• show environment</li> <li>• show unit</li> <li>• show logging all</li> <li>• debug show cpu utilization</li> <li>• debug show error-log</li> <li>• show tech-support</li> </ul>

## 1.48 CPU 使用率監視機能

ログ表示	CPU utilization has exceeded the threshold (before <before-value>, current <current-value>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	CPU 使用率が指定したしきい値を上回ったことを示します。
パラメーター	<before-value> : 前回の監視タイミングでの CPU 使用率(%)を示します。 <current-value> : 今回の監視タイミングでの CPU 使用率(%)を示します。
対象バージョン	1.06.01
対応	不要

ログ表示	CPU utilization has become less than the threshold
レベル	Informational (6)
イベントの説明	CPU 使用率が指定したしきい値を下回ったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.06.01
対応	不要

ログ表示	CPU dynamic receive rate suppression finish (start time:<date-time>, minimum rate:<rate>pps)
レベル	Debugging (7)
イベントの説明	1 秒間の平均 CPU 使用率が 99%以上になったため、CPU 宛パケットの受信レート抑制が行われていたことを示します。なお、このログは 1 秒間の平均 CPU 使用率が 94%以下になり、CPU 宛パケットの受信レート抑制が終了した時点で出力されます。
パラメーター	<date-time> : CPU 宛パケットの受信レート抑制が開始された時刻 (例 : 2019-12-31 23:59:59) <rate> : 設定された最小受信レート (例 : 1000)
対象バージョン	1.07.01
対応	不要

AEOS-NP5000 Ver. 1.08 システムログ対応一覧

Copyright(c) 2021 APRESIA Systems, Ltd.

2021年8月 初版

2022年3月 第2版

APRESIA Systems 株式会社

東京都中央区築地二丁目3番4号

築地第一長岡ビル

<https://www.apresiasystems.co.jp/>